

第3章 各調査の結果

< 図表のみかた >

- 1 回答は、それぞれの質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示している。それぞれの質問の回答者数は、全体（例えば3,002）の場合はN、それ以外の場合にはnと表記している。
- 2 ％は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。従って、回答の合計が必ずしも100.0%にならない場合（例えば99.9%、100.1%）がある。
- 3 回答者が2つ以上回答することのできる質問（複数回答）については、％の合計は100%を超えることがある。
- 4 棒グラフは、原則として回答割合の多い順に並べかえている。
なお、調査票を巻末の資料編に掲載した。

3 - 日ごろの困りごとと解決行動に関する調査 (WE B調査)

1 プロフィール

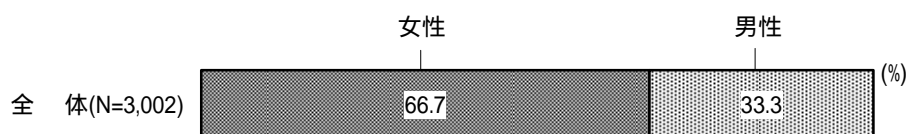
(1) 回答者のプロフィール

平均 44.7 歳。就労者は全体の 6 割台。非正規は 2 割弱。全体の 1 割が単身世帯。
 全体の半数の人が同居・近居の家族がいる。同居家族だけの人は 3 割。同居・近居の家族がいない人は 1 割。
 配偶者がいるのは 67%。共働きと片働きはおおよそ半数ずつ。半数が子どもがいる。
 本人年収の平均は 262 万円、世帯収入の平均は 630 万円。

性別 (Q1)

性別は、「女性」が 66.7%、「男性」が 33.3%で、女性対男性の比は2対1である(図表3 - - 1 - (1))。

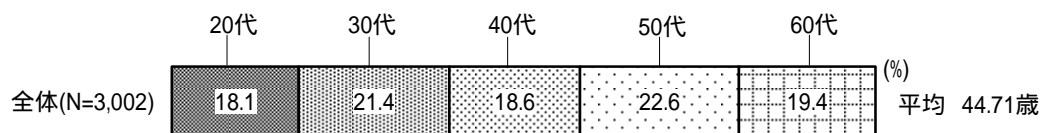
図表3 - - 1 - (1) 性別(全体)



年齢 (Q2)

年齢は、「50代(22.6%)」、「30代(21.4%)」の順に多いが、20代から60代までいずれの年代も2割前後である。平均年齢は 44.71 歳である(図表3 - - 1 - (2))。

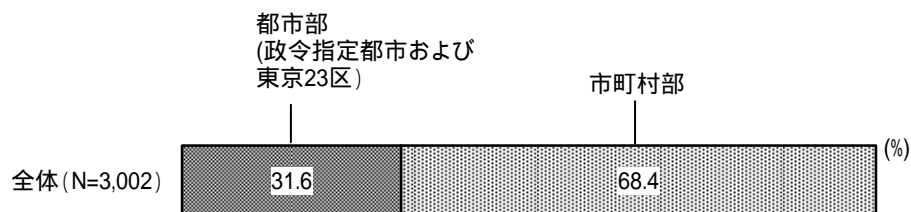
図表3 - - 1 - (2) 年齢(全体)



居住地域（Q3）

・居住地域は、都市規模別にみると、「都市部(政令指定都市および東京23区)」が31.6%、「市町村部」が68.4%である(図表3 - 1 - (3))。

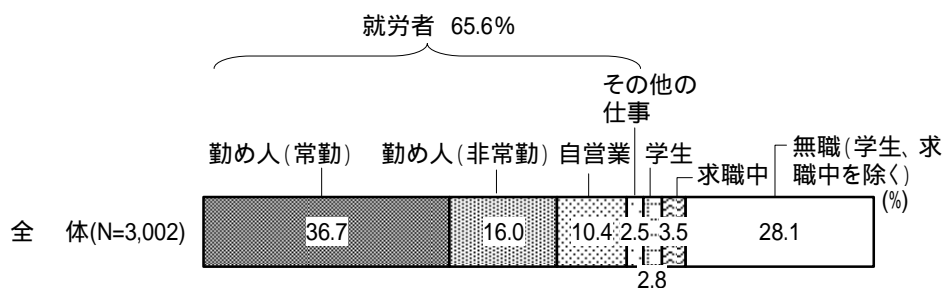
図表3 - 1 - (3) 居住地域 - 都市規模別 - (全体 / 2区分)



就労状況(Q4)

- ・就労状況は、就労者(「勤め人(常勤)」、「勤め人(非常勤、パートタイム、アルバイトなど)」、「自営業(事業の経営者、家業の手伝い、内職など)」、「その他の仕事」の合計)が65.6%、未就労者(「学生」、「求職中」、「無職」の合計)が34.4%である。就労者65.6%のうち、「勤め人(常勤)」は36.7%、それ以外の就労者は28.9%である(図表3 - - 1 - (4))。
- ・男女別にみると、女性の就労者は57.5%、男性の就労者は81.7%である(図表3 - - 1 - (5))。
- ・性・年代別にみると、女性は20代から50代まで就労者が5割から6割を占めている。そのうち、20代から40代の「勤め人(常勤)」の割合は3割台だが、年代があがるにしたがってその割合は低くなり、「勤め人(非常勤など)」の割合が高くなる。50代では「勤め人(非常勤など)」の割合が「勤め人(常勤)」の割合を上回り、最も高くなる。男性は常勤・非常勤等を含め、就労者が20代で7割、50代まで9割を占める(図表3 - - 1 - (5))。

図表3 - - 1 - (4) 就労状況(全体)



勤め人(非常勤) : 非常勤、パートタイム、アルバイトなど
 自営業 : 事業の経営者、家業の手伝い、内職など

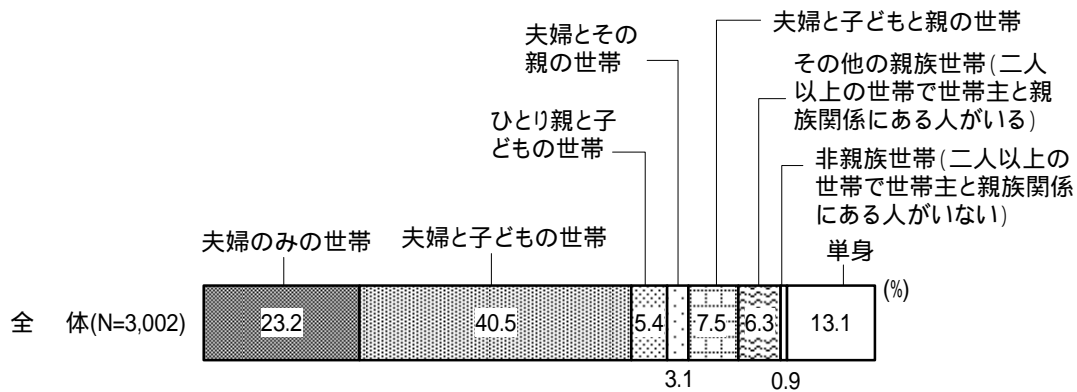
図表3 - - 1 - (5) 就労状況(全体、男女別、性・年代別)

		勤め人(常勤)	勤め人(非常勤、パートタイム、アルバイト)	自営業(事業の経営者、家業の手伝い、内職など)	その他の仕事	学生	求職中	無職(学生、求職中を除く)	自就業者(常勤、その他、非常勤、非仕事)
全	体 (N=3,002)	36.7	16.0	10.4	2.5	2.8	3.5	28.1	65.6
女	性 (n=2,002)	24.9	20.2	9.1	3.3	2.3	3.6	36.5	57.5
男	性 (n=1,000)	60.4	7.5	12.9	0.9	3.7	3.2	11.4	81.7
性・年代	女 20代 (n=356)	39.3	18.8	4.2	1.7	12.6	4.8	18.5	64.0
	女 30代 (n=425)	33.6	21.4	8.0	1.9	0.2	5.9	28.9	64.9
	女 40代 (n=368)	30.7	23.6	10.3	3.0	0.0	5.4	26.9	67.7
	女 50代 (n=454)	17.0	23.8	13.2	4.0	0.0	1.8	40.3	57.9
	女 60代 (n=399)	6.5	13.0	8.8	5.8	0.0	0.8	65.2	34.1
	男 20代 (n=186)	60.8	8.6	2.7	0.5	18.8	4.3	4.3	72.6
男 30代 (n=217)	77.4	8.8	9.2	0.0	0.5	0.9	3.2	95.4	
男 40代 (n=189)	71.4	6.9	14.3	0.5	0.5	3.2	3.2	93.1	
男 50代 (n=225)	67.1	1.8	19.1	2.2	0.0	4.0	5.8	90.2	
男 60代 (n=183)	20.2	12.6	18.6	1.1	0.0	3.8	43.7	52.5	

家族構成 (Q5)

- ・家族構成は、核家族(「夫婦のみの世帯」、「夫婦と子どもの世帯」、「ひとり親と子どもの世帯」)が69.1%を占める。「単身世帯」は13.1%である(図表3 - - 1 - (6))。
- ・男女別にみると、女性は核家族が70.8%、単身世帯が11.3%、男性は核家族が65.8%、単身世帯が16.7%である(図表3 - - 1 - (7))。
- ・性・年代別にみると、男女ともに20代は「単身世帯」、60代は「夫婦のみの世帯」が他の年代に比べて多い。

図表3 - - 1 - (6) 家族構成(全体)



図表3 - - 1 - (7) 家族構成(全体、男女別、性・年代別)

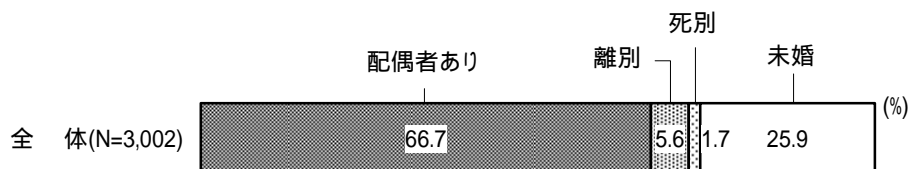
		夫婦のみの世帯	夫婦と子どもの世帯	ひとり親と子どもの世帯	夫婦とその親の世帯	夫婦と子どもと親の世帯	その他の親族世帯(二人以上の世帯で世帯主と親族関係にある人がいる)	非親族世帯(二人以上の世帯で世帯主と親族関係にある人がいない)	単身	
全	体 (N=3,002)	23.2	40.5	5.4	3.1	7.5	6.3	0.9	13.1	
男	性 (n=2,002)	25.1	39.7	6.0	2.8	7.5	6.4	1.2	11.3	
女	性 (n=1,000)	19.3	42.3	4.2	3.7	7.5	6.0	0.3	16.7	
性・年代	女	20代 (n= 356)	13.5	37.4	5.3	1.4	10.4	7.9	3.4	20.8
		30代 (n= 425)	16.2	51.3	3.3	3.1	7.8	6.8	1.4	10.1
		40代 (n= 368)	17.4	44.3	6.5	2.7	7.9	7.6	1.6	12.0
		50代 (n= 454)	31.1	35.2	9.3	4.2	7.9	5.3	0.0	7.0
		60代 (n= 399)	45.1	30.1	5.5	2.3	4.0	4.8	0.0	8.3
	男	20代 (n= 186)	8.6	38.2	4.3	1.1	6.5	10.8	1.1	29.6
		30代 (n= 217)	15.2	43.3	4.1	1.8	6.0	7.8	0.5	21.2
		40代 (n= 189)	13.8	46.6	7.4	2.1	10.1	4.8	0.0	15.3
		50代 (n= 225)	21.8	44.9	3.1	5.3	10.2	4.4	0.0	10.2
		60代 (n= 183)	37.7	37.7	2.2	8.2	4.4	2.2	0.0	7.7

結婚の有無と夫婦の働き方(Q6、Q6-1)

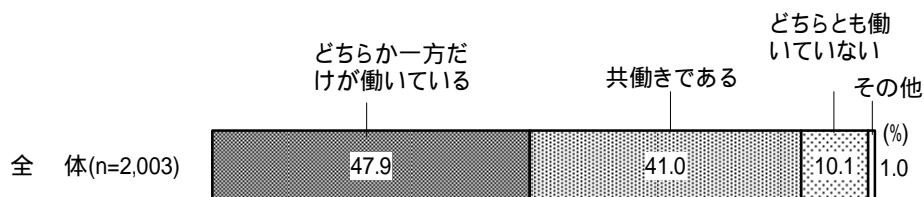
・結婚の有無は、「配偶者あり(66.7%)」が最も多く、「未婚(25.9%)」が続いている(図表3-1-1-8)。

「配偶者あり」と回答した人の夫婦の働き方は、「どちらか一方だけが働いている(47.9%)」、「共働きである(41.0%)」である(図表3-1-1-9)。

図表3-1-1-8 結婚の有無(全体)



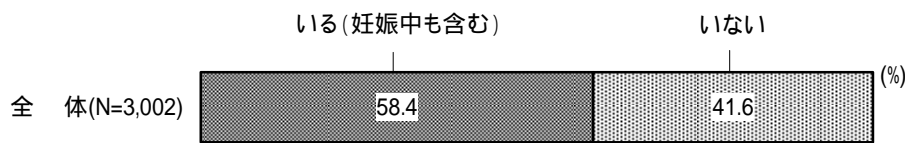
図表3-1-1-9 夫婦の働き方(全体) <「配偶者あり」と答えた人>



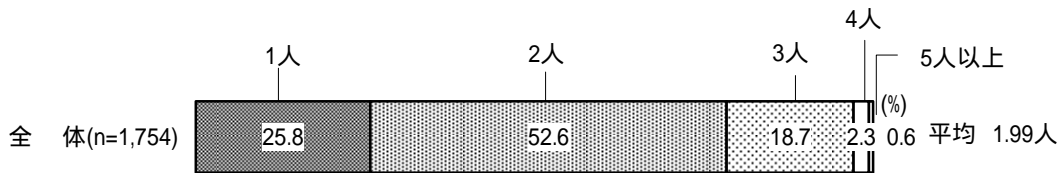
子どもの有無(Q7) 人数(Q7-1) 末子の年齢(Q7-2)

- ・子どもは、「いる(妊娠中も含む)」が58.4%、「いない」が41.6%である(図表3-1-10)。
- ・子どもがいる人の子どもの人数は、「2人(52.6%)」が最も多く、「1人(25.8%)」が続いている。平均は1.99人である(図表3-1-11)。
- ・末子の子どもの年齢は、「20代(26.6%)」が最も多く、「30代(22.9%)」が続いている。妊娠中も含めた未就学児(「妊娠中」、「1歳未満」、「1歳以上未就学児」)は、22.5%である(図表3-1-12)。

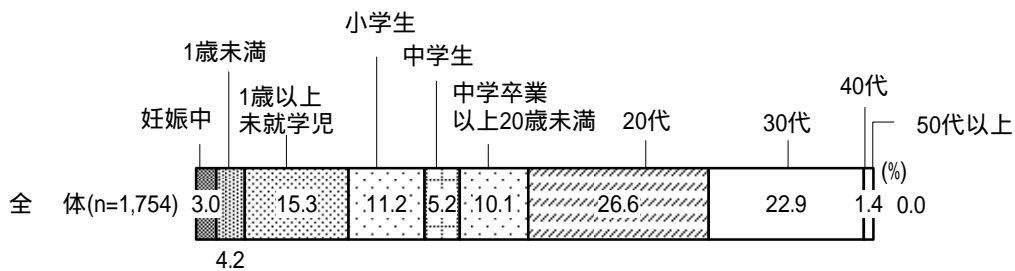
図表3-1-10 子どもの有無(全体)



図表3-1-11 子どもの人数(全体) <子どもが「いる」と答えた人>



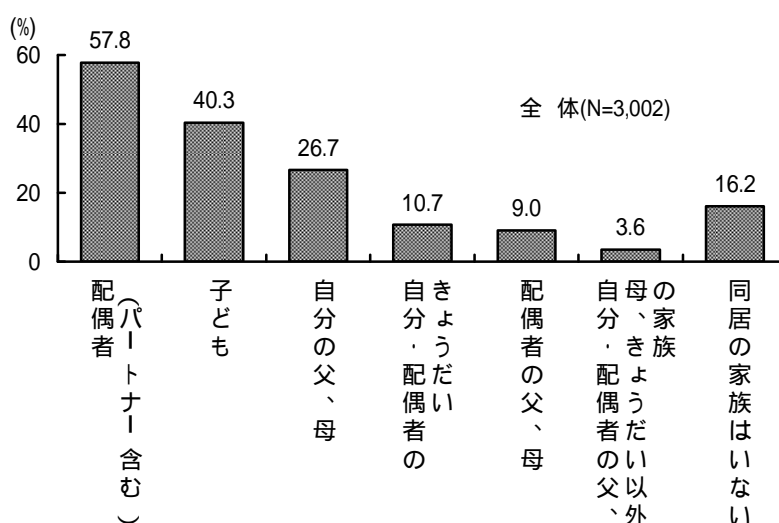
図表3-1-12 末子の子どもの年齢(全体) <子どもが「いる」と答えた人>



家族(Q8)

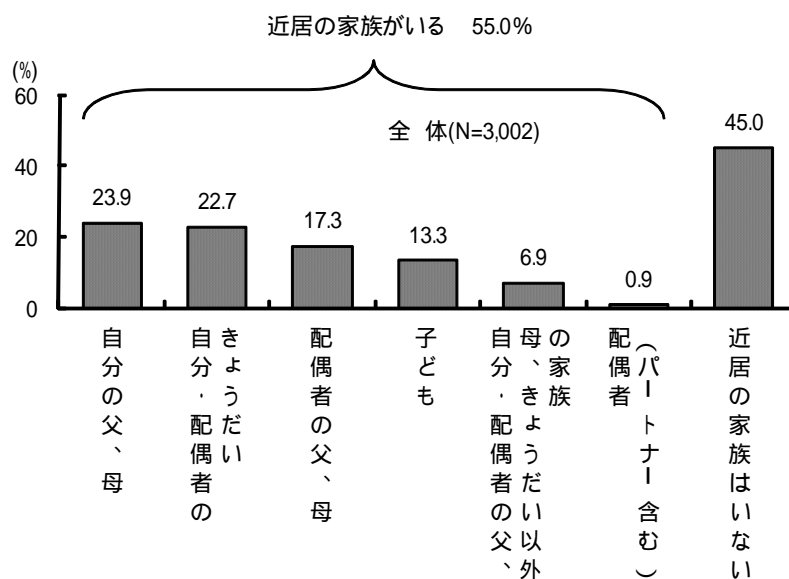
- ・同居の家族は、「配偶者(パートナー含む)(57.8%)」が最も多く、「子ども(40.3%)」、「自分の父、母(26.7%)」が続いている(図表3 - - 1 - (13))。
- ・交通手段を問わず30分程度で行き来できる範囲に住む近居の家族は「いる」が55.0%で内訳をみると、「自分の父、母(23.9%)」、「自分・配偶者のきょうだい(22.7%)」、「配偶者の父、母(17.3%)」が続く。(図表3 - - 1 - (14))。
- ・同居、近居をパターン別にみると、「同居・近居の家族がいる(50.7%)」が5割、「同居の家族のみいる(33.1%)」が約3割、「同居・近居の家族がない(11.9%)」が約1割である(図表3 - - 1 - (15))。

図表3 - - 1 - (13) 同居の家族(全体:複数回答)

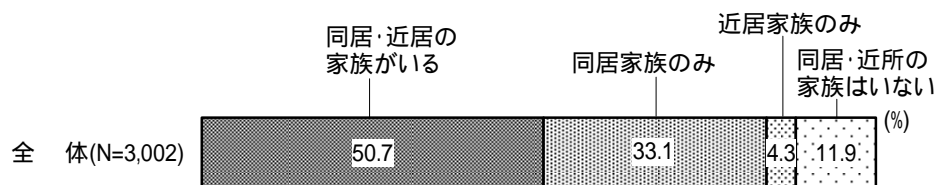


図表3 - - 1 - (14) 近居の家族(全体:複数回答)

(交通手段を問わず30分程度で行き来できる範囲に住む近居の家族)



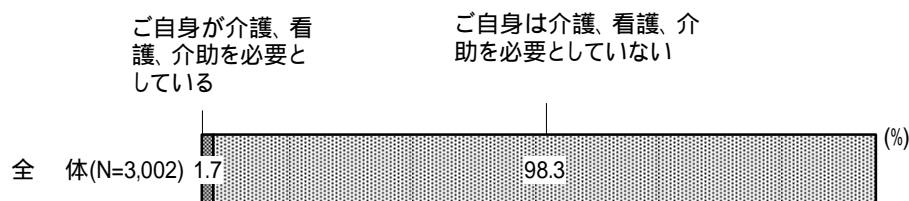
図表3 - - 1 - (15) 同居・近居の家族 パターン別 (全体)



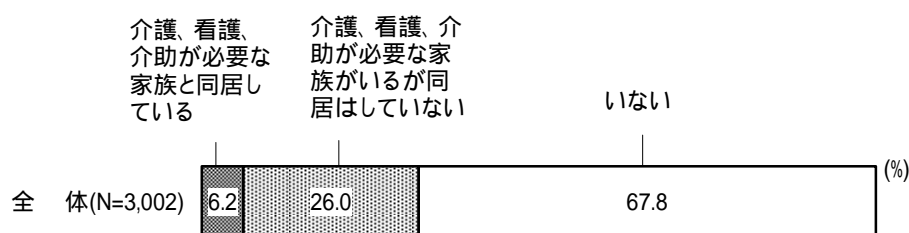
介護、看護、介助が必要な家族の有無 (Q9)

- ・介護、看護、介助については、「ご自身は介護、看護、介助を必要としていない」が 98.3%である (図表3 - - 1 - (16))。
- ・家族については、「(介護、看護、介助を必要とする家族は)いない(67.8%)」が最も多く、「介護、看護、介助を必要とする家族がいるが同居はしていない(26.0%)」が続いている (図表3 - - 1 - (17))。

図表3 - - 1 - (16) 介護、看護、介助の必要性 - 本人 - (全体)



図表3 - - 1 - (17) 介護、看護、介助の必要性 - 家族 - (全体)



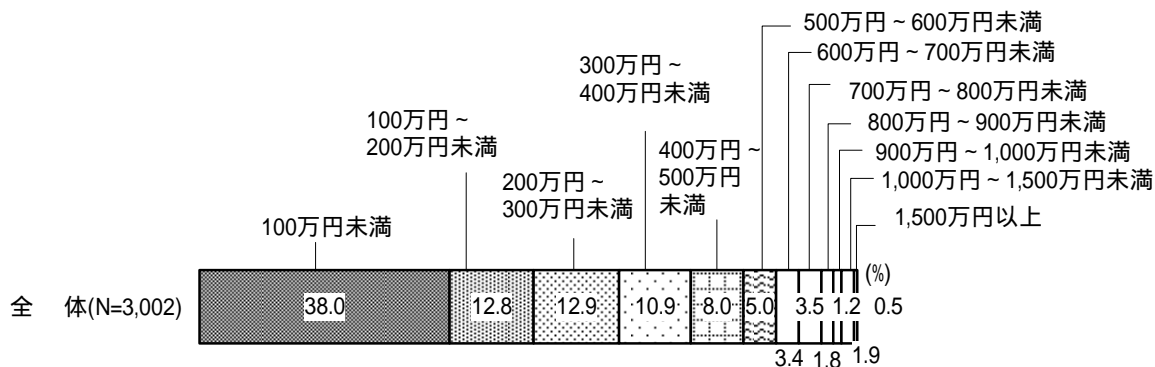
収入(Q10)

【本人年収】

本人年収については、世帯収入との比較ができるように、「学生」、「求職中」、「無職」を含めた全体数で集計、分析した。

- ・本人年収は、「100万円未満(38.0%)」が最も多く、「200万円～300万円未満(12.9%)」、「100万円～200万円未満(12.8%)」が続いており、300万円未満が全体の63.7%を占める(図表3-1-18)。
- ・平均年収は、全体281.8万円、女性188.2万円、男性469.2万円である(図表3-1-19)。
- ・男女別にみると、女性は「100万円以下(50.5%)」が5割を占める。男性は「100万円以下」から「700～800万円未満」まで10%前後で分散している(図表3-1-19)。
- ・性・年代別にみると、最も平均年収が高いのは、女性は40代の215.9万円、男性は50代の638.9万円である(図表3-1-19)。

図表3-1-18 本人の年収(全体)



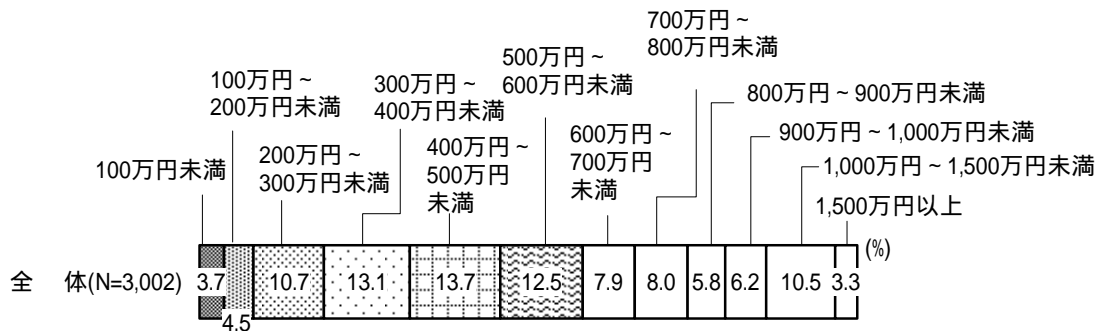
図表3-1-19 本人の年収(全体、男女別、性・年代別)

		(%) (万円)													平均
		100万円未満	100万円～200万円未満	200万円～300万円未満	300万円～400万円未満	400万円～500万円未満	500万円～600万円未満	600万円～700万円未満	700万円～800万円未満	800万円～900万円未満	900万円～1,000万円未満	1,000万円～1,500万円未満	1,500万円以上		
全体	(N=3,002)	38.0	12.8	12.9	10.9	8.0	5.0	3.4	3.5	1.8	1.2	1.9	0.5	281.8	
女性	(n=2,002)	50.5	15.6	12.8	8.8	5.2	2.3	1.4	1.7	0.6	0.2	0.4	0.2	188.2	
男性	(n=1,000)	13.0	7.3	13.0	15.2	13.5	10.4	7.4	7.0	4.2	3.0	4.9	1.1	469.2	
性・年代	女性														
	20代	(n=356)	42.7	18.8	19.4	11.8	4.8	1.4	0.8	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	176.7
	30代	(n=425)	48.9	12.7	12.9	10.6	6.6	4.0	1.4	1.9	0.7	0.0	0.2	0.0	196.8
	40代	(n=368)	49.2	14.1	11.7	9.8	5.2	3.0	1.6	2.7	0.8	0.3	0.8	0.8	215.9
	50代	(n=454)	57.0	13.9	10.4	5.7	4.4	2.0	2.2	3.3	0.4	0.2	0.4	0.0	176.4
	60代	(n=399)	53.1	19.0	10.5	6.8	5.3	1.0	1.0	0.5	1.0	0.5	0.8	0.5	177.3
	男性														
	20代	(n=186)	28.5	10.2	15.1	22.6	12.9	5.4	1.6	2.2	0.5	0.0	1.1	0.0	278.5
	30代	(n=217)	7.4	6.9	12.4	18.0	20.7	15.2	6.9	7.8	1.4	0.5	2.3	0.5	442.9
	40代	(n=189)	10.1	4.2	7.4	9.5	13.2	14.3	10.6	11.1	6.3	7.9	4.2	1.1	556.9
	50代	(n=225)	12.0	3.1	7.1	7.6	8.9	10.7	9.8	10.2	10.2	5.8	12.0	2.7	638.9
	60代	(n=183)	8.2	13.1	24.6	19.7	11.5	5.5	7.7	2.7	1.6	0.5	3.8	1.1	394.8

【世帯収入】

- ・世帯収入は、「400万円～500万円未満(13.7%)」が最も多く、「300万円～400万円未満(13.1%)」、「500万円～600万円未満(12.5%)」が続いている(図表3 - - 1 - (20))。
- ・平均世帯収入は、全体629.8万円、女性615.7万円、男性658.0万円である(図表3 - - 1 - (21))。
- ・男女別にみると、男女ともに「200万円～300万円未満」から「1,000万円～1,500万円未満」まで10%前後で分散している(図表3 - - 1 - (21))。
- ・性・年代別にみると、最も平均世帯収入が高いのは、女性は50代の723.3万円、男性は50代の824.9万円である(図表3 - - 1 - (21))。

図表3 - - 1 - (20) 世帯収入(全体)



図表3 - - 1 - (21) 世帯収入(全体、男女別、性・年代別)

		(%) (万円)													平均
		1 0 0 万円 未満	1 0 2 0 0 万円 ～ 200 万円 未満	2 0 3 0 0 万円 ～ 300 万円 未満	3 0 4 0 0 万円 ～ 400 万円 未満	4 0 5 0 0 万円 ～ 500 万円 未満	5 0 6 0 0 万円 ～ 600 万円 未満	6 0 7 0 0 万円 ～ 700 万円 未満	7 0 8 0 0 万円 ～ 800 万円 未満	8 0 9 0 0 万円 ～ 900 万円 未満	9 0 1 0 0 0 万円 ～ 1,000 万円 未満	1 0 5 0 0 0 万円 ～ 1,500 万円 未満	1 5 0 0 0 万円 以上		
全	体 (N=3,002)	3.7	4.5	10.7	13.1	13.7	12.5	7.9	8.0	5.8	6.2	10.5	3.3	629.8	
男	性 (n=2,002)	3.8	5.0	12.6	13.1	14.0	12.1	7.5	7.3	5.3	5.4	10.1	3.6	615.7	
女	性 (n=1,000)	3.5	3.6	6.7	13.0	13.1	13.2	8.8	9.3	6.8	7.9	11.3	2.8	658.0	
性・年代別	女	20代 (n= 356)	5.9	7.0	15.4	15.7	13.2	9.0	6.5	6.7	3.4	4.2	9.6	3.4	564.0
		30代 (n= 425)	3.1	4.5	11.3	14.6	17.2	16.5	7.1	8.0	6.1	4.5	4.9	2.4	564.6
		40代 (n= 368)	3.5	4.1	11.1	11.4	12.0	11.7	9.5	9.5	5.4	7.3	11.1	3.3	647.3
		50代 (n= 454)	3.3	3.3	9.7	9.7	12.6	8.8	8.4	8.8	7.5	6.6	16.1	5.3	723.3
		60代 (n= 399)	3.5	6.5	16.3	14.8	15.0	14.3	6.0	3.5	3.8	4.3	8.5	3.5	564.8
		男	20代 (n= 186)	7.5	3.8	9.1	16.7	16.7	12.4	3.8	7.5	3.8	5.9	10.8	2.2
	30代 (n= 217)		0.9	2.3	7.4	17.1	16.1	17.5	10.1	12.9	6.5	2.8	4.6	1.8	589.2
	40代 (n= 189)		3.2	2.1	4.8	6.9	9.5	14.8	12.7	12.7	9.5	10.6	11.6	1.6	701.6
	50代 (n= 225)		4.0	2.7	3.6	5.8	5.3	11.6	7.6	8.4	11.1	13.8	21.3	4.9	824.9
	60代 (n= 183)		2.2	7.7	9.3	19.7	19.1	9.3	9.8	4.4	2.2	6.0	7.1	3.3	568.6

2 日ごろの生活について

(1) 気軽に話せる人(Q11)

家族、友人・知人、職場では「気軽に話せる人がいる」という回答が多いが、となり近所やネット上では、「気軽に話せる人がいない」という回答の方が多い。
性別では、男性の方が「気軽に話せる人がいない」という割合が高い。

家族に

・家族に「気軽に話せる人がいる」が 87.7%と約9割を占め、「気軽に話せる人がいない」は 12.3%にとどまった(図表3 - - 2 - (1))。

【「気軽に話せる人がいない」の回答について】

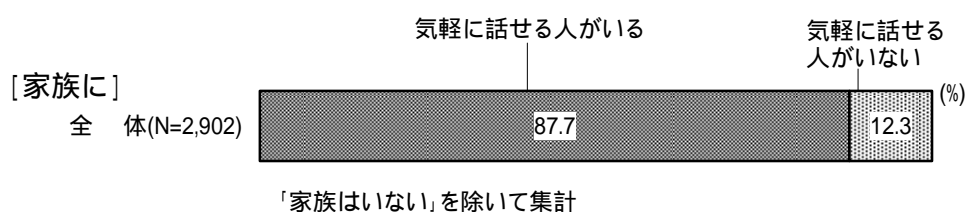
・男女別にみると、男性 13.3%、女性 11.8%と、男性の方が女性に比べて割合が高い(図表3 - - 2 - (2))。

・性・年代別にみると、女性は 40 代(15.7%)、男性は 20 代(17.8%)が他の年代に比べて高い(図表3 - - 2 - (2))。

・子どもの有無別にみると、子どもがいない人の 16.6%に比べ、子どもがいる人は 9.4%となっており、子どものいない人の方が割合が高い(図表3 - - 2 - (2))。

・同居・近居の有無別にみると、近居家族のみいる人で 22.0%、同居・近居の家族がいない人で 19.9%と他に比べて割合が高く、同居・近居の家族がいる人の 9.1%と大きく差が開いている(図表3 - - 2 - (2))。

図表3 - - 2 - (1) 気軽に話せる人 - 家族 - (全体)



図表3 - - 2 - (2) 気軽に話せる人 - 家族 -

(全体、男女別、性・年代別、子どもの有無別、同居・近居別、同居・近居と活動の有無別)

			(%)		
			気人 軽が にい 話る せる	気人 軽が にい 話な せる	
全	体	(N=2,902)	87.7	12.3	
男女	女	性 (n=1,946)	88.2	11.8	
	男	性 (n= 956)	86.7	13.3	
性・年代	女	20代 (n= 343)	86.3	13.7	
		30代 (n= 417)	88.2	11.8	
		40代 (n= 351)	84.3	15.7	
		50代 (n= 444)	90.3	9.7	
		60代 (n= 391)	91.0	9.0	
	男	20代 (n= 174)	82.2	17.8	
		30代 (n= 209)	86.1	13.9	
		40代 (n= 178)	85.4	14.6	
		50代 (n= 215)	88.8	11.2	
		60代 (n= 180)	90.6	9.4	
子ども	いる	(n=1,742)	90.6	9.4	
	いない	(n=1,160)	83.4	16.6	
同居・近居	同居・近居の家族がいる		(n=1,514)	90.9	9.1
	同居家族のみいる		(n= 979)	86.3	13.7
	近居家族のみいる		(n= 118)	78.0	22.0
	同居・近居の家族はいない		(n= 291)	80.1	19.9
同居・近居×活動の有無	同居・近居の家族がいる-活動している		(n= 718)	93.2	6.8
	同居・近居の家族がいる-活動していない		(n= 796)	88.8	11.2
	同居家族のみいる-活動している		(n= 389)	90.7	9.3
	同居家族のみいる-活動していない		(n= 590)	83.4	16.6
	近居家族のみいる-活動している		(n= 41)	80.5	19.5
	近居家族のみいる-活動していない		(n= 77)	76.6	23.4
	同居・近居の家族はいない-活動している		(n= 98)	82.7	17.3
	同居・近居の家族はいない-活動していない		(n= 193)	78.8	21.2

「家族はいない」を除いて集計

友人、知人に

・友人、知人に「気軽に話せる人がいる」が76.2%を占め、「気軽に話せる人がいない」が19.3%にとどまっている(図表3 - - 2 - (3))。

【「気軽に話せる人がいない」の回答について】

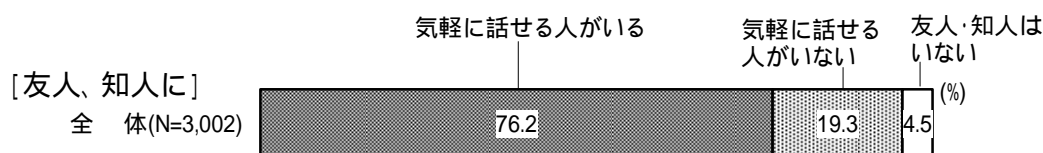
・男女別にみると、男性 23.7%、女性:17.1%と、男性の方が女性に比べて割合が高い(図表3 - - 2 - (4))。

【「友人・知人はいない」の回答について】

・性・年代別にみると、女性は60代が4.8%と最も高く、20代、30代の2%台に比べて高い。男性は40代が10.1%と他に比べて抜きん出て高い。

20代は男女ともに「気軽に話せる人がいる」割合が最も高い(図表3 - - 2 - (4))。

図表3 - - 2 - (3) 気軽に話せる人 - 友人、知人 - (全体)



図表3 - - 2 - (4) 気軽に話せる人 - 友人、知人 - (全体 男女別、性・年代別、同居・近居と活動の有無別)

			気人 軽が にい 話な せる	気人 軽が にい 話な せる	友い 人な ・い 知人 は	
全	体	(N=3,002)	76.2	19.3	4.5	
男女	女性	(n=2,002)	79.2	17.1	3.7	
	男性	(n=1,000)	70.2	23.7	6.1	
性・年代	女性	20代	(n= 356)	81.2	16.6	2.2
		30代	(n= 425)	77.2	20.5	2.4
		40代	(n= 368)	75.0	20.7	4.3
		50代	(n= 454)	81.3	14.1	4.6
	男性	20代	(n= 186)	78.5	18.8	2.7
		30代	(n= 217)	70.0	24.0	6.0
		40代	(n= 189)	63.5	26.5	10.1
		50代	(n= 225)	67.6	27.1	5.3
同居・近居×活動の有無	同居・近居の家族がいる-活動している	(n= 722)	84.6	12.7	2.6	
	同居・近居の家族がいる-活動していない	(n= 800)	72.9	23.0	4.1	
	同居家族のみいる-活動している	(n= 393)	84.5	14.2	1.3	
	同居家族のみいる-活動していない	(n= 601)	65.2	28.1	6.7	
	近居家族のみいる-活動している	(n= 44)	86.4	9.1	4.5	
	近居家族のみいる-活動していない	(n= 86)	80.2	12.8	7	
	同居・近居の家族はいない-活動している	(n= 114)	79.8	14.9	5.3	
	同居・近居の家族はいない-活動していない	(n= 242)	70.7	19.4	9.9	

職場に

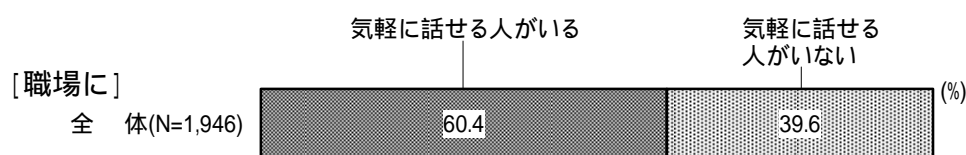
・職場に「気軽に話せる人がいる」が 60.4%と半数を超えたものの、「気軽に話せる人がいない」という人の割合も 39.6%と約4割を占める(図表3 - - 2 - (5))。

【「気軽に話せる人がいない」の回答について】

・男女別にみると、男性 42.0%、女性 37.8%と、男性の方が女性に比べて割合が高い(図表3 - - 2 - (6))。

・性・年代別にみると、女性は30代(43.5%)、男性は40代(47.7%)が他の年代に比べて高い(図表3 - - 2 - (6))。

図表3 - - 2 - (5) 気軽に話せる人 - 職場 - (全体)



「学生」、「求職中」、「無職」を除いて集計

図表3 - - 2 - (6) 気軽に話せる人 - 職場 - (全体、男女別、性・年代別、同居・近居と活動の有無別)

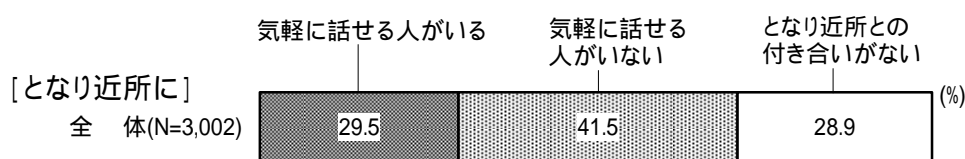
			(%)		
			人が気軽に話せる	人が気軽に話せない	
全	体	(N=1,946)	60.4	39.6	
男女	女性	(n=1,111)	62.2	37.8	
	男性	(n= 835)	58.0	42.0	
性・年代	女性	20代	(n= 236)	61.9	38.1
		30代	(n= 269)	56.5	43.5
		40代	(n= 242)	64.9	35.1
		50代	(n= 250)	61.2	38.8
		60代	(n= 114)	72.8	27.2
	男性	20代	(n= 152)	61.8	38.2
		30代	(n= 209)	56.5	43.5
		40代	(n= 174)	52.3	47.7
		50代	(n= 207)	61.8	38.2
		60代	(n= 93)	57.0	43.0
同居・近居×活動の有無	同居・近居の家族がいる-活動している		(n= 453)	65.1	34.9
	同居・近居の家族がいる-活動していない		(n= 504)	61.1	38.9
	同居家族のみいる-活動している		(n= 228)	66.7	33.3
	同居家族のみいる-活動していない		(n= 394)	51.3	48.7
	近居家族のみいる-活動している		(n= 30)	60.0	40.0
	近居家族のみいる-活動していない		(n= 61)	59.0	41.0
	同居・近居の家族はいない-活動している		(n= 92)	58.7	41.3
	同居・近居の家族はいない-活動していない		(n= 184)	59.8	40.2

「学生」、「求職中」、「無職」を除いて集計。

となり近所に

- ・となり近所に「気軽に話せる人がいる」が 29.5%、「気軽に話せる人がいない」が 41.5%、「となり近所との付き合いがない」が 28.9%となっている(図表3 - - 2 - (7))。
- ・男女別にみると、「気軽に話せる人がいない」は、男性 51.6%、女性 36.5%と男性の方が女性に比べて割合が高い(図表3 - - 2 - (8))。
- ・性・年代別にみると、男女ともに年代が低いほど「となり近所との付き合いがない」割合が高く、20代は女性 51.7%、男性 46.8%と最も高い。一方、「気軽に話せる人がいない」割合は男女ともに40代が最も高く、「となり近所とのつきあいがいい」の割合が高い20代、30代よりも高くなっている(図表3 - - 2 - (8))。

図表3 - - 2 - (7) 気軽に話せる人 - となり近所 - (全体)



図表3 - - 2 - (8) 気軽に話せる人 - となり近所 - (全体 男女別 性・年代別 同居 近居と活動の有無別)

			(%)	気人 軽が にい 話 せ る	気人 軽が にい 話 な せ る	と付 な き り 合 近 い 所 が と な の い
全	体	(N=3,002)	29.5	41.5	28.9	
男 女	女 性	(n=2,002)	33.4	36.5	30.1	
	男 性	(n=1,000)	21.8	51.6	26.6	
性 ・ 年 代	女 性	20代	(n= 356)	11.2	37.1	51.7
		30代	(n= 425)	31.1	38.8	30.1
		40代	(n= 368)	31.5	40.5	28.0
		50代	(n= 454)	39.6	35.9	24.4
		60代	(n= 399)	50.4	30.6	19.0
	男 性	20代	(n= 186)	12.9	40.3	46.8
		30代	(n= 217)	13.8	51.6	34.6
		40代	(n= 189)	18.0	61.4	20.6
		50代	(n= 225)	24.0	60.4	15.6
		60代	(n= 183)	41.5	42.1	16.4
同居 ・ 近 居 × 活 動 の 有 無	同居・近居の家族がいる - 活動している		(n= 722)	45.0	39.5	15.5
	同居・近居の家族がいる - 活動していない		(n= 800)	24.4	43.9	31.8
	同居家族のみいる - 活動している		(n= 393)	41.7	38.9	19.3
	同居家族のみいる - 活動していない		(n= 601)	20.1	48.9	30.9
	近居家族のみいる - 活動している		(n= 44)	31.8	34.1	34.1
	近居家族のみいる - 活動していない		(n= 86)	18.6	36.0	45.3
	同居・近居の家族はいない - 活動している		(n= 114)	21.9	38.6	39.5
	同居・近居の家族はいない - 活動していない		(n= 242)	11.2	30.6	58.3

ネット上に

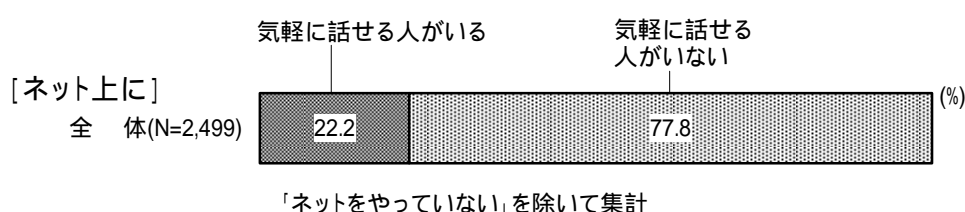
・ネット上に「気軽に話せる人がいる」と答えた人の割合は 22.2%で、約8割は「気軽に話せる人がいない」と回答した(図表3 - - 2 - (9))。

【「気軽に話せる人がいない」の回答について】

・男女別にみると、男性 81.3%、女性 75.8%と男性の方が女性に比べて割合が高い(図表3 - - 2 - (10))。

・性・年代別にみると、女性は 60 代、男性は 30 代が最も高く、40 代、50 代でも 80%を超える。また、20 代から 50 代までいずれの年代も女性の方が割合が低い(図表3 - - 2 - (10))。

図表3 - - 2 - (9) 気軽に話せる人 - ネット上に - (全体)



図表3 - - 2 - (10) 気軽に話せる人 - ネット上 - (全体 男女別、性・年代別、同居・近居と活動の有無別)

			気 人 軽 が に い 話 せ る	気 人 軽 が に い 話 な せ い る
全	体	(N=2,499)	22.2	77.8
男 女	女	性 (n=1,611)	24.2	75.8
	男	性 (n= 888)	18.7	81.3
性 ・ 年 代	女	20 代 (n= 323)	28.2	71.8
		30 代 (n= 372)	24.5	75.5
		40 代 (n= 307)	24.4	75.6
		50 代 (n= 333)	23.7	76.3
		60 代 (n= 276)	19.6	80.4
	男	20 代 (n= 172)	22.1	77.9
		30 代 (n= 204)	14.7	85.3
		40 代 (n= 170)	15.3	84.7
		50 代 (n= 190)	18.9	81.1
		60 代 (n= 152)	23.7	76.3
同 居 ・ 近 居 × 活 動 の 有 無	同居・近居の家族がいる-活動している (n= 590)		25.4	74.6
	同居・近居の家族がいる-活動していない (n= 660)		19.2	80.8
	同居家族のみいる-活動している (n= 315)		29.2	70.8
	同居家族のみいる-活動していない (n= 525)		17.9	82.1
	近居家族のみいる-活動している (n= 35)		17.1	82.9
	近居家族のみいる-活動していない (n= 61)		27.9	72.1
	同居・近居の家族はいない-活動している (n= 102)		22.5	77.5
	同居・近居の家族はいない-活動していない (n= 211)		22.3	77.7

「ネットをやっていない」を除いて集計。

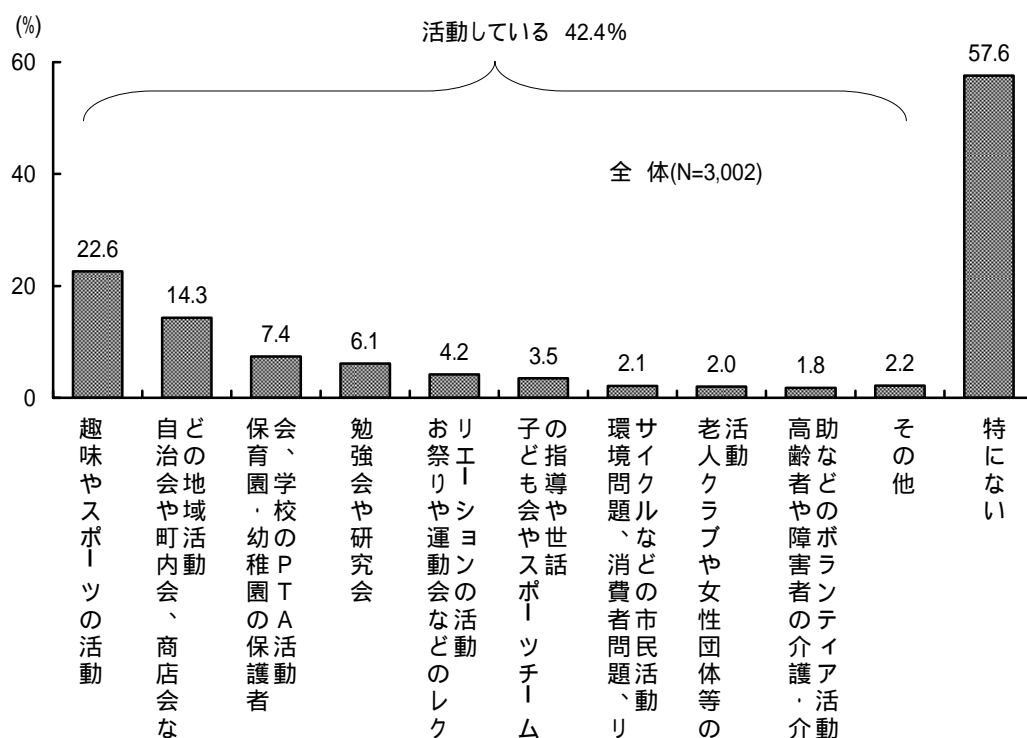
(2) 日ごろの活動

地域活動をしている人は4割。そのうち4割が週1回以上活動に参加している。

仕事や学校以外の地域などでの活動(Q12)、活動の頻度(Q12-1)

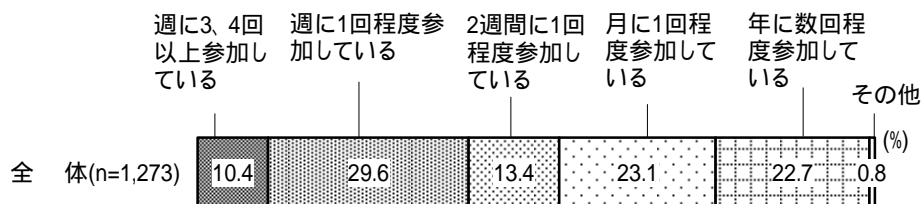
- ・仕事や学校以外の地域などでの活動は、「趣味やスポーツの活動(22.6%)」が最も多く、「自治会や町内会、商店会などの地域活動(14.3%)」が続いている。何らかの活動をしている人は42.4%で、「特にない」が57.6%である(図表3-2-(11))。
- ・活動をしている人の参加頻度は、「週に1回程度参加している(29.6%)」が最も多く、「月に1回程度参加している(23.1%)」、「年に数回程度参加している(22.7%)」が続いている(図表3-2-(12))。

図表3-2-(11) 仕事や学校以外の地域などでの活動(全体:複数回答)



図表3-2-(12) 活動の頻度(全体)

<仕事や学校以外の地域などでの活動に参加している人>



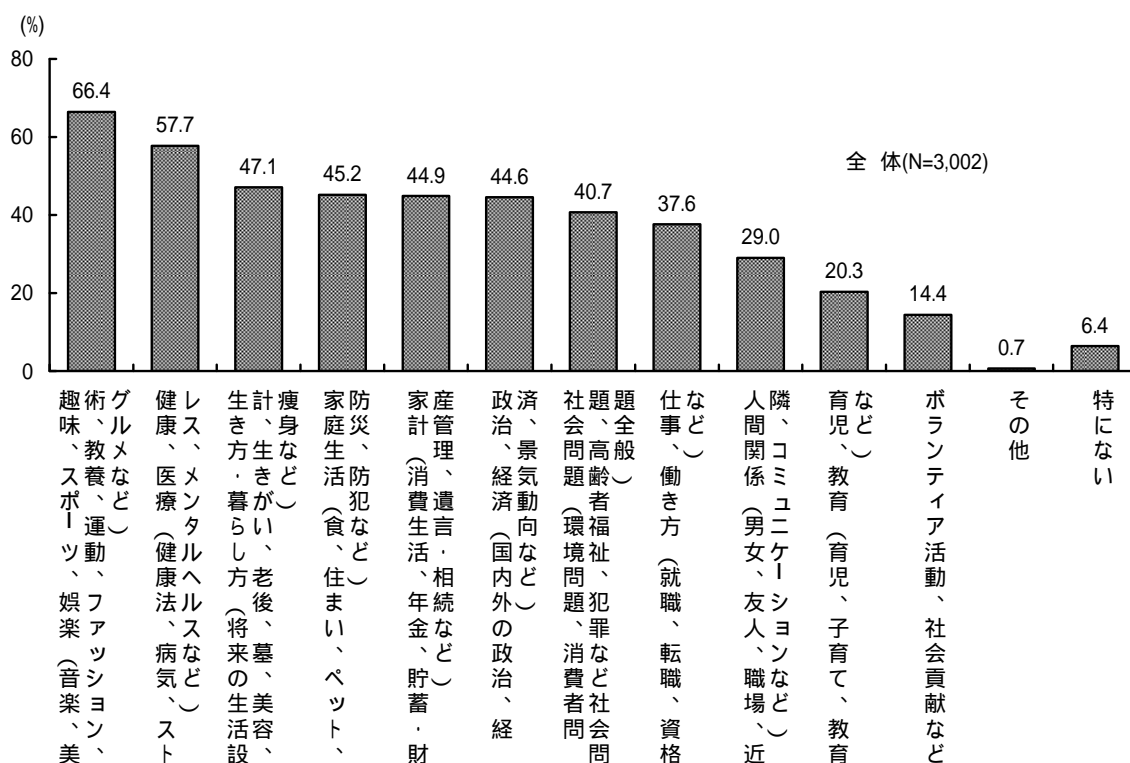
(3) 関心のあること

現在、関心のあることを複数回答できいたところ、「趣味・スポーツ・娯楽」、「健康・医療」が半数を超える。主な情報源はインターネット、新聞、テレビなどが多い。

関心のあること(Q13)

・関心のあることは、「趣味、スポーツ、娯楽(66.4%)」が最も多く、「健康、医療(57.7%)」、「生き方、暮らし方(47.1%)」が続いている(図表3 - 2 - (13))。

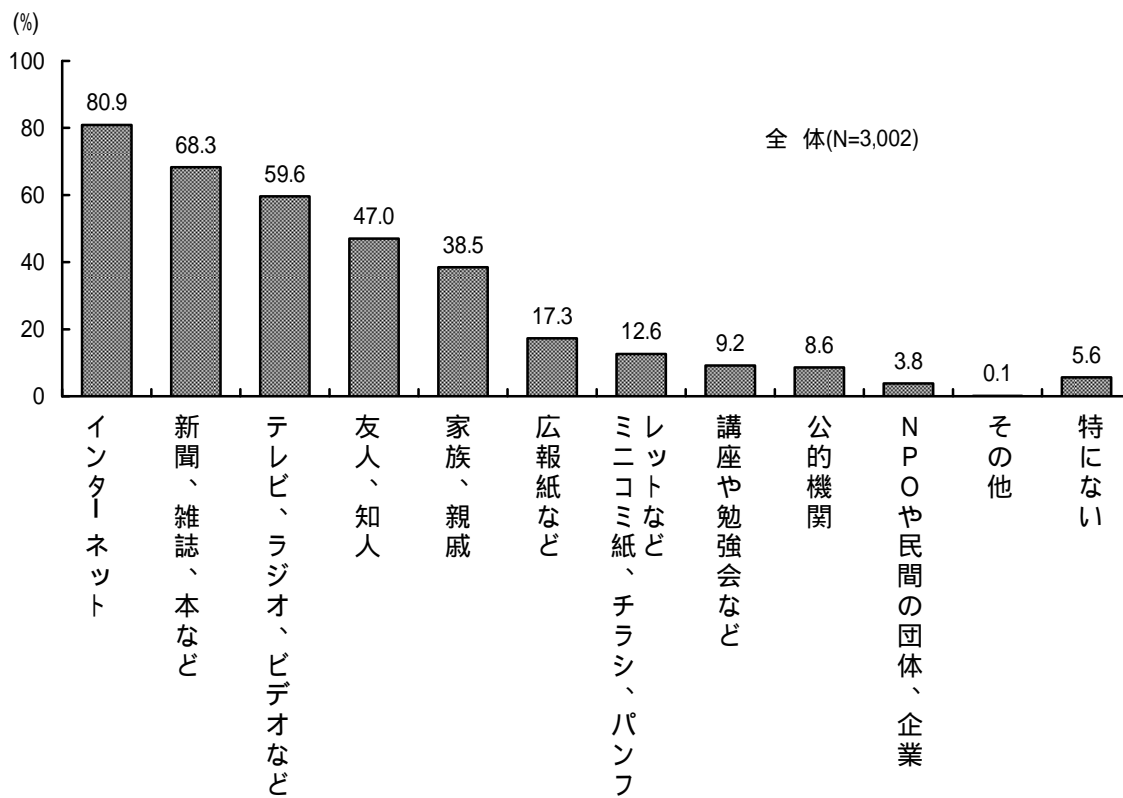
図表3 - 2 - (13) 関心のあること(全体:複数回答)



関心のあることの情報源(Q14)

・関心のあることの情報源は、「インターネット(80.9%)」が最も多く、「新聞、雑誌、本など(68.3%)」、「テレビ、ラジオ、ビデオなど(59.6%)」が続いている(図表3 - 2 - (14))。

図表3 - 2 - (14) 関心のあることの情報源(全体:複数回答)



(4) ストレス

日ごろストレスを「感じている人」は 27.7%、「どちらかというと感じている人(40.6%)」を含めると、約7割の人がストレスを感じている。

ストレスの有無(Q15)

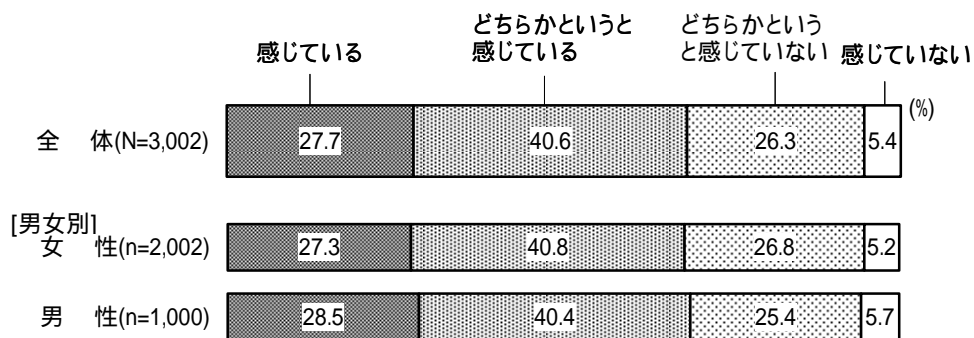
・ストレスは、「どちらかというと感じている(40.6%)」が最も多く、「感じている(27.7%)」が続いている。「感じている」と「どちらかというと感じている」をあわせると 68.3%がストレスを《感じている》と回答している(図表3 - 2 - (15))。

【《感じている》という回答について】

・男女別にみると、女性 68.0%、男性 68.9%となっている(図表3 - 2 - (16))。

・性・年代別にみると、女性は20代が77.0%で最も多く、30代、40代も70%台となっている。男性は20代から50代まで70%台を示しており、なかでも30代は77.0%で最も多い(図表3 - 2 - (16))。

図表3 - 2 - (15) ストレスの有無(全体、男女別)



図表3 - 2 - (16) ストレスの有無(全体、男女別、性・年代別)

			(%)	
			感じている	感じていない
全	体	(N=3,002)	68.3	31.7
男	女	(n=2,002)	68.0	32.0
女	男	(n=1,000)	68.9	31.1
性・年代	女	20代 (n= 356)	77.0	23.0
		30代 (n= 425)	74.8	25.2
		40代 (n= 368)	71.7	28.3
		50代 (n= 454)	64.3	35.7
		60代 (n= 399)	53.6	46.4
		20代 (n= 186)	74.7	25.3
	男	30代 (n= 217)	77.0	23.0
		40代 (n= 189)	73.5	26.5
		50代 (n= 225)	70.2	29.8
		60代 (n= 183)	47.0	53.0

(《感じている》) = 感じている、どちらかといえば感じている
 (《感じていない》) = どちらかというと感じていない、感じていない

ストレスの内容(Q15-1)

- ・どのようなことでストレスを感じるか、自由記述できいたところ、2,051件(女性1,361件、男性689件)の書き込みがあった。自由回答の内容を「対人関係」、「家族・将来の生活」、「子育て・介護」、「仕事・活動」、「健康」、「金銭」別に分類し、性・年代別に複数回答のあった内容をまとめたところ、以下の結果となった。性別・年代別を問わず、「仕事・活動」や「対人関係」が多い。男性は特に「仕事・活動」の悩みが突出して多くなっている(図表3-2-(17~20))。
- ・「対人関係」では、男女とも職場の人間関係を筆頭に、家族、近所づきあいなどがあがっている。女性は子どもを介しての人づき合いが多いが、それがストレスにもなっていることがうかがえる。
- ・「家族・将来の生活」では、女性は夫の生活態度に対する不満が散見される。男性は40代以降で自分の老後に対する不安があがっている。
- ・「子育て・介護」では、男女とも子どもの進学・結婚があがっている。女性の20代、30代では子育ての不安の他、自分自身の時間が持てないこともストレスになっていることがうかがえる。
- ・「金銭」では、女性は家計のやりくり、男性は収入が少ないことがあがっている。
- ・「健康」では、女性は20代、30代でダイエットや妊娠・出産、40代以上は加齢による体調不良などがあがっている。男性は睡眠不足や疲れなどがあがっている。
- ・「仕事・活動」では、女性は仕事と家事の両立、男性は仕事のやりがいや責任、多忙などがあがっている。

図表3-2-(17) ストレスの内容 (女性・年代別、自由記述)

<対人関係、家族・将来の生活、子育て・介護>

性・年代	対人関係	家族・将来の生活	子育て・介護
女性 20代	<ul style="list-style-type: none"> ・職場(上司、同僚、取引先) ・夫 ・彼氏 ・親 ・親戚 ・ママ友 ・遠方に引越して親しい友人がいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・一日中家庭に縛られて息抜きができない ・適齢期だが未だに独身でいる ・夫が家事を一切手伝わない ・今後を考えると無性に不安になる ・親が心配 	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめての育児 ・育児・妊娠中のため自由に行動できない ・子育てで相談する人がいない
女性 30代	<ul style="list-style-type: none"> ・職場(上司、同僚、取引先、後輩) ・夫 ・親 ・夫の家族 ・近所づきあい ・子どもの友達、保護者同士のつきあい ・友達がいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚できない ・子どもがいない ・自分の時間が持てない ・子どもの教育や家庭を守ることへのプレッシャー、社会の評価の低さ ・夫の帰宅が遅い ・夫の単身赴任 ・子どもが言うことを聞かない ・一人暮らしの寂しさ、将来の不安 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがいて自由に出かけられない ・子どもと二人きりの時間が長く息抜きができない ・子どものしつけ、トイレトレーニング ・子育てでうまくいかない時、夫の言動 ・夫は協力的だが家にいる時間が少なく、全部一人でこなさなければならぬ ・配偶者や自分の親との同居 ・親の介護
女性 40代	<ul style="list-style-type: none"> ・職場(同僚、部下、上司) ・夫 ・自分や配偶者の親 ・親族 ・子どもの友達や保護者のつきあい ・近所に友人・知人がいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の生活にあわせることが多く、自分の時間がない ・パートナーとの価値観の違い ・夫が単身赴任中 ・将来の生活設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの進学、受験 ・子どもが言うことを聞かない ・子どもの就職が決まらない ・年頃の娘の帰宅が遅い(仕事で) ・同居している家族の介護 ・離れて住んでいる親の介護
女性 50代	<ul style="list-style-type: none"> ・職場(同僚、部下、上司) ・夫 ・自分や配偶者の親 ・自分や配偶者のきょうだい ・親族 ・近所づきあい 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間がなく好きなことができない ・夫が多忙で会話がない ・夫が家事をしない ・定年を迎えた夫の再就職 ・家族の問題を相談できる人がいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの進学 ・子どもの就職 ・子どもの結婚 ・子どもが学校を休みがち

性・年代	対人関係	家族・将来の生活	子育て・介護
女性 60代	<ul style="list-style-type: none"> ・職場(同僚、部下、上司) ・夫 ・親子 ・親族 ・趣味サークルの仲間 ・近所づきあい 	<ul style="list-style-type: none"> ・夫が定年退職して家に居るようになり自分の自由時間がなくなった ・夫の言動、価値観の違い ・夫が家事をしない ・自分の老後 ・友人が亡くなり精神的な喪失感がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの進学 ・子どもの就職 ・子どもの結婚 ・孫の世話 ・子ども(30代)の引きこもり ・同居の親の介護 ・義父母の介護 ・離れて住んでいる親の介護

図表3 - 2 - (18) ストレスの内容 (女性・年代別、自由記述)

< 仕事・活動、健康、金銭 >

性・年代	仕事・活動	健康	金銭
女性 20代	<ul style="list-style-type: none"> ・求職(転職)中で仕事が決まらない ・子どもがいると仕事が見つからない ・通勤が大変 ・正社員として働いていない ・人員削減で正社員の負担が大きい ・仕事が忙しい ・仕事・家事・育児に追われる ・仕事がうまくいかない ・労働条件への不満 ・セクハラ ・学歴や就業形態で差別がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイエットがうまくいかない ・うつ病は回復しているはずなのに仕事など社会人としてのステップが踏み出せない。お金がないのに働いていない ・睡眠時間が思うようにとれない ・妊娠中の体重や体調の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・収入が不安定 ・金銭的な余裕がない ・お金を自由に使えない ・不景気で夫の給料が減った。家族の時間はたくさんあるがどこにもいけない。共働きを夫から勧められても家事・仕事・育児の全てをこなせない ・今後の生活について、経済的に不安になる
女性 30代	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と家事の両立 ・保育園に入れず常勤で働けない ・バリバリのキャリアウーマンだったが結婚を機に仕事を辞めた。主婦業にやりがいを見出せずつまらない ・通勤が大変 ・労働条件への不満 ・仕事への評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもはほしいが先行きが不透明で妊娠できない ・子どもができない。できたとしても高齢出産のため心配 ・新型インフルエンザなどで、無事に出産できるか心配 ・睡眠不足 ・自分や家族の病気 ・うつ病による体調の悪さ、家族の荷物になっていること、将来への不安、今後をせかされる圧力 	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤だが非正規社員で給料が安い ・家計のやりくり ・夫、自分ともに職を失う怖さがある ・働いても収入が出費に追いつかない
女性 40代	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事が忙しい ・人員が少なく休憩時間も取れない ・仕事と家庭の両立 ・仕事がうまくいかない ・求職活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の病気(うつ病など) ・自分の体調、体力の衰え ・腰痛、肩こり ・更年期 	<ul style="list-style-type: none"> ・家計のやりくり ・失業で共働きができなくなり収入が激減した ・子どもの学費、老後の年金と貯え ・経済的に不安定 ・自分に収入がないのでほしいものがあっても買えない
女性 50代	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事が忙しく身体や心を休める時間がない ・パワハラ ・仕事の責任 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の健康・病気 ・更年期 ・体力の低下 ・独身なので健康を害すると即生活できなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・家計のやりくり ・学費 ・収入の低下 ・ローン、借金 ・相続
女性 60代	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味のサークルや市民活動での苦勞 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の健康・病気 ・記憶力、体力の低下 	<ul style="list-style-type: none"> ・学費 ・借金 ・家計のやりくり

図表3 - - 2 - (19) ストレスの内容 (男性・年代別、自由記述)

< 対人関係、家族・将来の生活、子育て・介護 >

性・年代	対人関係	家族・将来の生活	子育て・介護
男性 20代	・職場(上司、先輩、同僚) ・親	・彼女ができない ・恋愛がうまくいかない	・0歳児を一人で養っていかなければ ならないプレッシャー
男性 30代	・職場(上司、先輩、同僚) ・妻 ・近所づきあい ・親戚	・結婚 ・自分の時間があまりない ・仕事が忙しく家族をかまう余裕がない ・収入が少ないことに対する妻からの プレッシャー ・アルバイトの妻が家事をしない	-
男性 40代	・職場(同僚、部下、取引先) ・妻 ・近所づきあい ・親	・結婚相手を探するのが難しい ・自分の老後	・子どもの受験
男性 50代	・職場(同僚、上司、部下)	・自分の老後	・子どもの教育・進学 ・子どもの結婚
男性 60代	・職場(部下) ・近所づきあい ・妻 ・嫁姑	・自分の親の介護	・子どもの教育 ・子どもの結婚

図表3 - - 2 - (20) ストレスの内容 (男性・年代別、自由記述)

< 仕事・活動、健康、金銭 >

性・年代	仕事・活動	健康	金銭
男性 20代	・部活動の主将になりストレス ・就職活動/雇用の継続 ・仕事のやりがい ・仕事のルマ、責任 ・仕事がうまくいかない ・仕事が忙しい ・仕事と家庭のバランス	・睡眠不足 ・自分の容姿	・生活に余裕がなく贅沢ができない ・仕事は大変なのに収入が少ない ・収入が少ないので結婚できても子 どもがかわいそう、自分の老後も不 安。
男性 30代	・定職についていない不安 ・仕事の拘束時間が長い ・仕事がうまくいかない ・役職や責任のプレッシャー ・通勤が大変、転勤 ・職場のいじめ、差別、パワハラ	・疲れ ・体調管理	・借金
男性 40代	・仕事が見つからない ・仕事・活動の成果が表れにくい ・仕事と介護の両立 ・会社での地位	・自分の健康・病気 ・家族の看病 ・寝不足	・不況で仕事が減って収入が激減し た
男性 50代	・解雇され仕事が見つからない ・仕事をしたくても年齢で落とされる ・自分の仕事に対する評価 ・仕事の責任感 ・仕事の量と質のアンバランス ・パワハラ	・仕事以外の時間がとれず疲れがた まっている ・自分や家族の健康・病気	・自由に使える金額が少ない ・収入の確保 ・所得減収による家計のやりくり ・定年退職後の生活 ・ローン、借金 ・医療費/教育費が高い
男性 60代	・仕事の実績 ・仕事と介護の両立	・年齢とともに疲れを感じる ・運動不足	・借金の返済 ・定年後の生活/年金暮らし

3 悩みや困りごとと解決方法について

(1) 悩みや困りごと

なんらかの悩みや困りごとのある人は8割。ストレスの強さと悩みや困りごとの有無に相関関係がみられた。

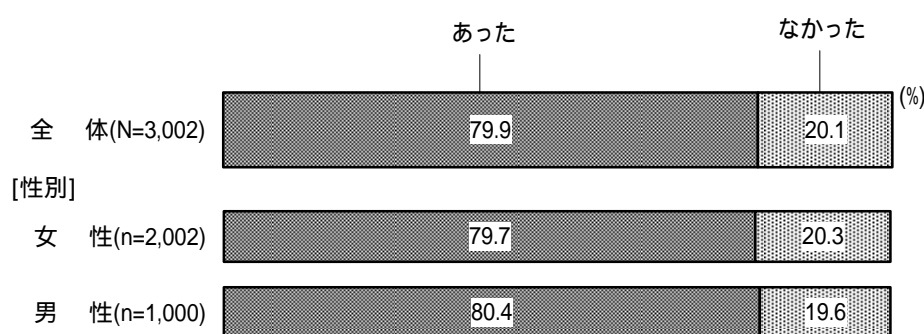
悩みや困りごとがある人のうち、4人に1人が「仕事、雇用、転職、再就職、起業など」を最も大きな悩みとしてあげている。

1人の人がたくさんの悩みや困りごとを抱えている。悩みや困りごとの数は男女とも20代が最も多く、年代が上がるにしたがい低くなっていく。

この1年間における悩みや困りごとの有無(Q16)

- ・この1年間における悩みや困りごとは、「あった」が79.9%、「なかった」が20.1%である(図表3 - - 3 - (1))。
- ・男女別にみると、「あった」は女性79.7%、男性80.4%である(図表3 - - 3 - (2))。
- ・性・年代別にみると、男女ともに年代が低いほど「あった」と回答した割合が多く、20代は、女性88.5%、男性89.2%で最も多い(図表3 - - 3 - (2))。
- ・世帯収入別にみると、「あった」と回答した割合が最も多いのは100万円から200万円未満の84.6%、最も少ないのは1500万円以上の74.0%である(図表3 - - 3 - (2))。
- ・ストレスの有無別にみると、「あった」と回答した割合は、ストレスを「感じている」と答えた人の97.4%が悩みや困りごとが「あった」と答える一方、ストレスを「感じていない」と答えた人で悩みや困りごとが「あった」と答えた人は29.2%にとどまっており、相関関係がみられる(図表3 - - 3 - (2))。

図表3 - - 3 - (1) この1年間における悩みや困りごとの有無(全体、男女別)



図表3 - 3 - (2) この1年間における悩みや困りごとの有無
(全体、男女別、性・年代別、世帯収入別、ストレスの有無別)

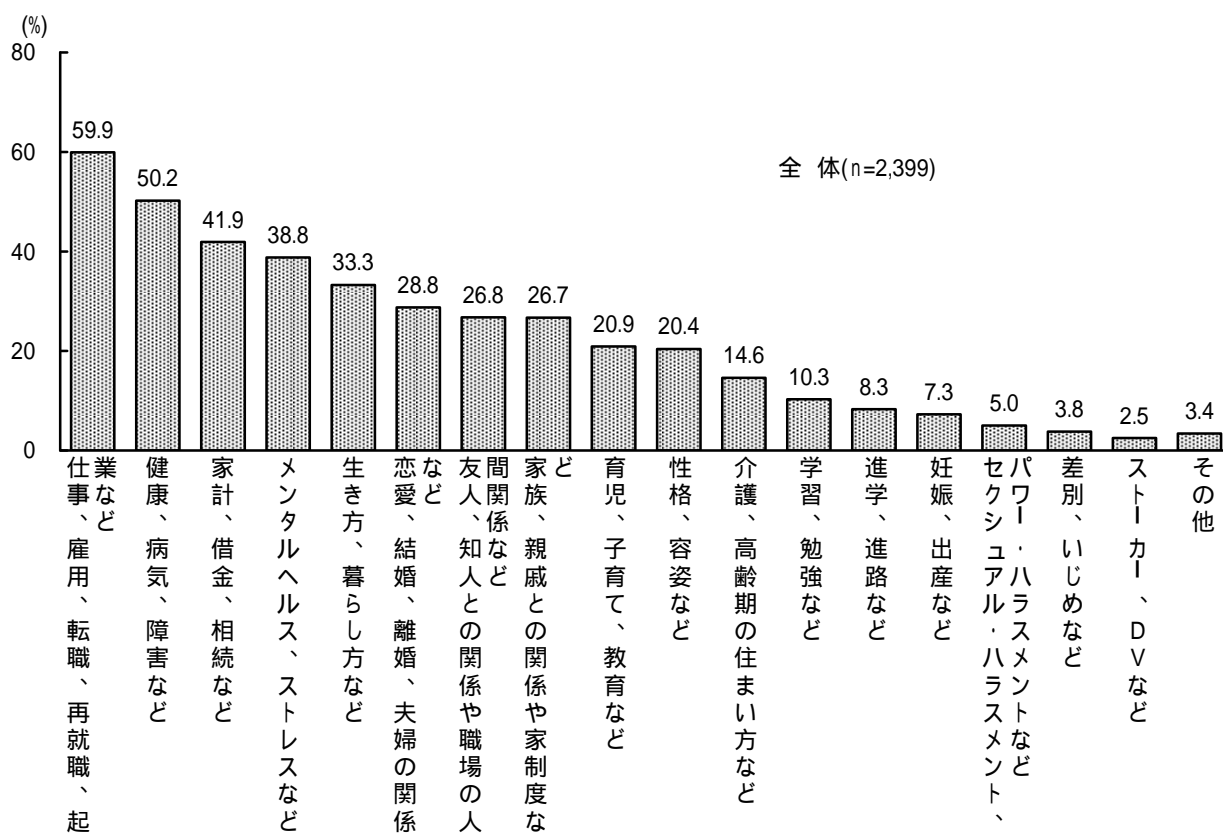
			(%)	
			あ っ た	な か っ た
全	体	(N=3,002)	79.9	20.1
男女	女	性 (n=2,002)	79.7	20.3
	男	性 (n=1,000)	80.4	19.6
性・年代	女	20代 (n= 356)	88.5	11.5
		30代 (n= 425)	84.0	16.0
		40代 (n= 368)	82.1	17.9
		50代 (n= 454)	78.6	21.4
		60代 (n= 399)	66.2	33.8
	男	20代 (n= 186)	89.2	10.8
		30代 (n= 217)	83.4	16.6
		40代 (n= 189)	77.8	22.2
		50代 (n= 225)	80.4	19.6
		60代 (n= 183)	70.5	29.5
世帯収入	100万円未満	(n= 111)	81.1	18.9
	100万円～200万円未満	(n= 136)	84.6	15.4
	200万円～300万円未満	(n= 320)	83.4	16.6
	300万円～400万円未満	(n= 393)	78.9	21.1
	400万円～500万円未満	(n= 412)	78.4	21.6
	500万円～600万円未満	(n= 374)	78.9	21.1
	600万円～700万円未満	(n= 238)	76.1	23.9
	700万円～800万円未満	(n= 240)	80.4	19.6
	800万円～900万円未満	(n= 175)	80.6	19.4
	900万円～1,000万円未満	(n= 187)	82.9	17.1
	1,000万円～1,500万円未満	(n= 316)	80.7	19.3
1,500万円以上	(n= 100)	74.0	26.0	
ストレスの有無	感じている	(n= 831)	97.4	2.6
	どちらかといえば感じている	(n=1,220)	87.9	12.1
	どちらかといえば感じていない	(n= 790)	59.6	40.4
	感じていない	(n= 161)	29.2	70.8

この1年間にあった悩みや困りごとの内容（Q17）

この1年間にあった悩みや困りごとは、全体でみると「仕事、雇用、転職、再就職、起業など(59.9%)」が最も多く、「健康、病気、障害など(50.2%)」が続いている。次いで、「家計、借金、相続など(41.9%)」、「メンタルヘルス、ストレスなど(38.8%)」、「生き方、暮らし方など(33.3%)」が続いている。他方、「セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントなど(5.0%)」や「差別、いじめ(3.8%)」、「ストーカー、DVなど(2.5%)」は数としては少ないが、それぞれ5%台から2%台があったと回答している(図表3 - 3 - (3))。

図表3 - 3 - (3) この1年間にあった悩みや困りごと(全体:複数回答)

<この1年間に悩みや困りごとが「あった」と答えた人>



- ・男女別にみると、男女とも「仕事、雇用、転職、再就職、起業など(男性:73.4%、女性 53.0%)」が最も多く、また女性は、「健康、病気、障害など(53.5%)」もほぼ同じ割合が多い。その他の項目は女性のほうが高いものが多い(図表3 - - 3 - (4))。
- ・性・年代別にみると、女性の20代、30代では「仕事、雇用、転職、再就職、起業など」が、40代から60代では「健康、病気、障害など」が1位にあげられているが、男性は20代から50代まで「仕事、雇用、転職、再就職、起業など」が1位にあげられている(図表3 - - 3 - (4))。
- ・悩みや困りごとの数をみると、1人あたりの平均は4.0であり、女性の平均は4.1、男性の平均は3.8となっている。回答数を性・年代別にみると、男女ともに20代での数が多く、女性の平均が5.0、男性の平均が4.3である。年齢の上昇に伴い回答は少なくなる傾向にあり、60代では女性は2.9、男性は3.0となっている(図表3 - - 3 - (4))。

図表3 - - 3 - (4) この1年間にあった悩みや困りごと(全体、男女別、性・年代別:複数回答)

<この1年間に悩みや困りごとが「あった」と答えた人>

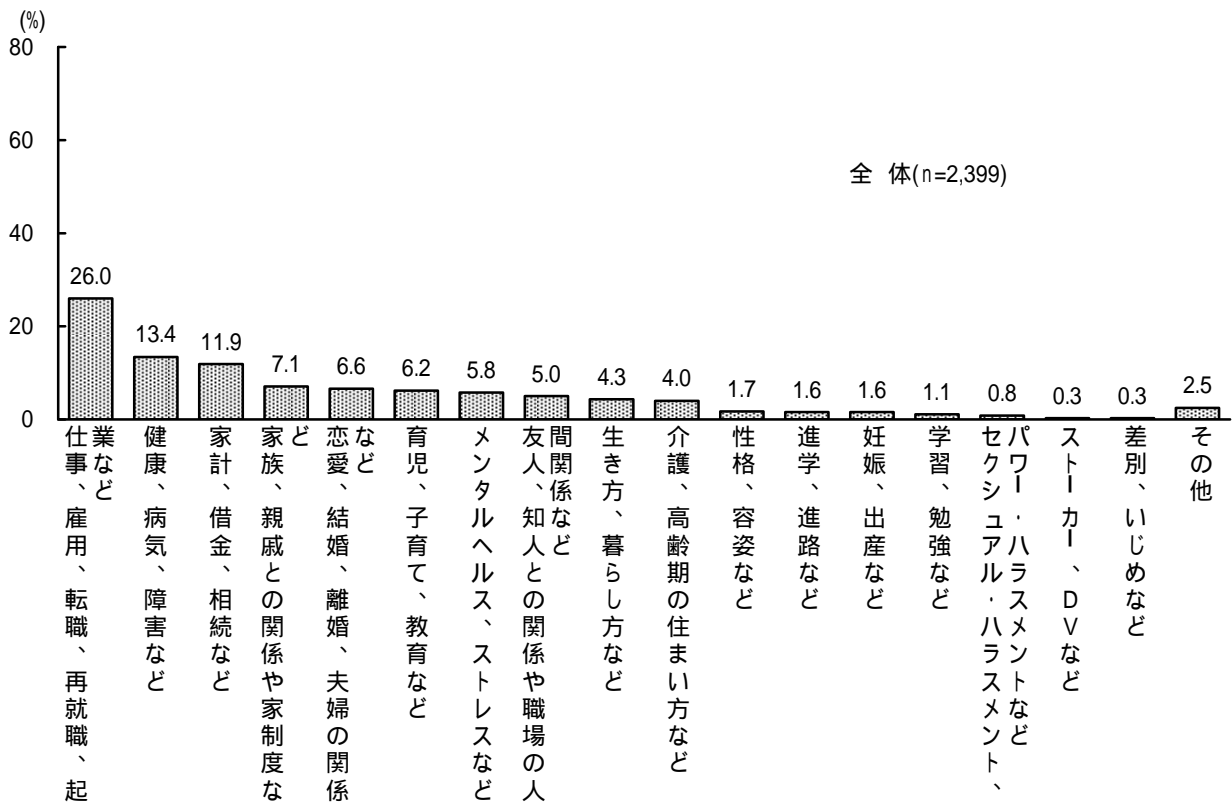
(%)

		仕事、雇用、転職、再就職、起業など	健康、病気、障害など	家計、借金、相続など	メンタルヘルス、ストレスなど	生き方、暮らし方など	恋愛、結婚、離婚、夫婦の関係	友人、知人との関係や職場の人	家族、親戚との関係や家制度など	育児、子育て、教育など	性格、容姿など	介護、高齢期の住まい方など	学習、勉強など	進学、進路など	妊娠、出産など	セクシュアル・ハラスメント、パワハラ・ハラスメントなど	差別、いじめなど	ストーカー、DVなど	その他	回答数の平均	
全	体 (n=2,399)	59.9	50.2	41.9	38.8	33.3	28.8	26.8	26.7	20.9	20.4	14.6	10.3	8.3	7.3	5.0	3.8	2.5	3.4	4.0	
女	性 (n=1,595)	53.0	53.5	43.1	40.9	34.3	30.2	26.8	30.0	23.6	22.9	15.4	9.8	7.9	7.9	4.4	3.5	2.6	3.4	4.1	
男	性 (n= 804)	73.4	43.8	39.4	34.6	31.3	26.0	26.7	20.1	15.5	15.4	13.1	11.4	9.2	6.1	6.3	4.5	2.5	3.2	3.8	
性・年代	女	20代 (n= 315)	77.1	47.6	38.4	48.3	45.4	53.3	38.1	26.0	15.9	43.5	4.1	21.3	15.6	13.0	7.9	2.9	4.1	0.6	5.0
		30代 (n= 357)	58.5	45.9	43.1	44.3	33.3	37.0	31.7	28.0	42.3	27.7	7.8	11.2	6.2	18.2	3.9	3.6	3.1	2.0	4.5
		40代 (n= 302)	56.3	57.3	49.3	46.4	32.8	22.2	24.8	29.1	34.1	18.2	14.6	10.3	11.6	4.6	3.6	5.6	2.6	3.3	4.3
		50代 (n= 357)	46.2	56.0	47.9	36.1	32.8	21.0	23.0	33.9	15.7	16.2	27.5	3.1	4.8	0.8	4.2	2.5	2.0	4.8	3.8
		60代 (n= 264)	22.3	62.9	34.8	27.7	26.1	15.2	14.0	33.0	6.4	6.4	23.9	2.7	1.1	1.1	1.9	3.0	0.8	7.2	2.9
	男	20代 (n= 166)	77.1	34.3	33.1	36.1	41.0	42.8	31.9	16.9	10.2	29.5	6.0	28.3	19.3	6.6	6.0	3.0	3.0	0.6	4.3
		30代 (n= 181)	80.7	37.0	42.0	35.4	31.5	35.4	31.5	19.3	21.5	13.8	8.8	9.4	5.0	13.3	6.6	5.0	2.2	3.9	4.0
		40代 (n= 147)	80.3	42.9	45.6	44.9	30.6	24.5	25.2	19.7	17.7	14.3	10.9	6.1	7.5	2.0	8.8	3.4	0.7	0.7	3.9
		50代 (n= 181)	75.7	48.6	42.0	36.5	23.8	12.7	27.6	18.2	19.9	13.3	17.7	8.3	9.9	4.4	6.6	6.1	3.9	3.3	3.8
		60代 (n= 129)	47.3	59.7	33.3	17.1	30.2	11.6	14.0	28.7	5.4	3.9	24.0	3.1	3.1	2.3	3.1	4.7	2.3	8.5	3.0

【最も大きな悩みや困りごと】

・最も大きな悩みや困りごとは、「仕事、雇用、転職、再就職、起業など(26.0%)」が最も多く4人に1人があげている。続いて「健康、病気、障害など(13.4%)」、「家計、借金、相続など(11.9%)」となっている(図表3 - - 3 - (5))。

図表3 - - 3 - (5) この1年間にあった最も大きな悩みや困りごと(全体)
 <この1年間に悩みや困りごとが「あった」と答えた人>



- ・男女別にみると、男性は「仕事、雇用、転職、再就職、起業など(39.3%)」が4割を占める。女性は、「仕事、雇用、転職、再就職、起業など」、「健康、病気、障害など」、「家計、借金、相続など」が10%台である(図表3 - 3 - (6))。
- ・性・年代別にみると、女性は20代から40代まで「仕事、雇用、転職、再就職、起業など」が最も多く、50代は「家計、借金、相続など」、60代は「健康、病気、障害など」が最も多くなっている。男性は20代から50代まで「仕事、雇用、転職、再就職、起業など」が最も多く、60代は「健康、病気、障害など」が最も多くなっている(図表3 - 3 - (6))。

図表3 - 3 - (6) この1年間にあった最も大きな悩みや困りごと(全体、男女別、性・年代別)

<この1年間に悩みや困りごとが「あった」と答えた人>

			仕事、雇用、転職、再就職、起業など	健康、病気、障害など	家計、借金、相続など	家族、親戚との関係や家制度など	恋愛、結婚、離婚、夫婦の関係など	育児、子育て、教育など	メンタルヘルス、ストレスなど	友人、知人との関係や職場の人間関係など	生き方、暮らし方など	介護、高齢期の住まい方など	性格、容姿など	進学、進路など	妊娠、出産など	学習、勉強など	パワー・ハラスメントなど、セクシュアル・ハラスメント	ストーカー、DVなど	差別、いじめなど	その他	
全	体	(n=2,399)	26.0	13.4	11.9	7.1	6.6	6.2	5.8	5.0	4.3	4.0	1.7	1.6	1.6	1.1	0.8	0.3	0.3	2.5	
女	性	(n=1,595)	19.2	14.9	12.2	8.6	7.5	7.9	6.0	4.7	3.9	4.5	1.9	1.5	1.9	1.0	0.9	0.3	0.4	2.8	
男	性	(n= 804)	39.3	10.6	11.3	4.2	4.9	2.7	5.5	5.5	5.0	3.2	1.2	1.9	0.9	1.2	0.4	0.1	0.1	2.0	
性・年代	女	20代	(n= 315)	34.6	6.7	6.3	5.1	12.1	5.1	7.3	4.8	4.4	0.6	3.2	3.2	2.2	1.9	1.6	0.6	0.0	0.3
		30代	(n= 357)	20.4	9.5	10.1	7.0	9.8	14.0	7.0	6.2	2.2	1.1	2.2	0.8	5.3	1.4	0.6	0.0	0.8	1.4
		40代	(n= 302)	18.2	11.9	12.6	7.3	7.9	12.3	7.3	3.3	2.6	3.6	3.0	3.0	1.7	1.3	0.7	0.3	0.3	2.6
	男	50代	(n= 357)	13.7	16.8	17.4	12.0	2.2	5.0	3.9	6.4	5.0	10.1	0.6	0.6	0.0	0.3	1.4	0.6	0.3	3.6
		60代	(n= 264)	8.0	32.6	14.8	11.7	5.3	1.9	4.2	1.9	5.3	6.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	6.4
		20代	(n= 166)	52.4	3.0	7.8	1.2	7.8	1.2	3.6	3.6	4.2	1.2	2.4	5.4	0.6	4.2	0.0	0.6	0.0	0.6
性	30代	(n= 181)	40.3	7.2	9.9	2.8	7.2	3.3	6.6	8.3	3.3	2.2	1.1	1.1	3.3	0.6	0.6	0.0	0.0	2.2	
	40代	(n= 147)	36.7	9.5	12.9	4.8	4.8	3.4	9.5	5.4	6.1	2.7	1.4	0.7	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.7	
	50代	(n= 181)	41.4	9.9	14.9	3.3	1.1	3.9	6.1	5.5	4.4	3.9	1.1	1.7	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	2.2	
	60代	(n= 129)	20.9	27.1	10.9	10.9	3.1	1.6	0.8	3.9	7.8	7.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	4.7	

最も大きな悩みや困りごと（自由記述）（Q17-1）

- ・この1年間にあった最も大きな悩みごとの具体的な内容を自由に記述してもらった。全体で2,479件(女性1,553件、男性926件。回答拒否を除く)の書き込みがあった。複数の人から回答があったものを性・年代別に整理したが、20代と30代、40代と50代では共通点も多くなっている。
- ・20代～30代では、女性は、結婚や妊娠・出産・子育て、母子家庭で仕事が見つからない、ダブルワークをしても家計が苦しいなどの悩みがみられる。健康問題では摂食障害や不妊、痩身などの悩みがみられる。一方、男性は、仕事がきつい、うまくいかない、減収・失業など仕事に関する悩みが多い。健康問題では、容姿のほか、原因不明の体調不良、眠れない、うつがみられる。
- ・40代～50代では、男女ともに親との同居・介護、自分や家族の健康、子どもの進学・結婚、仕事が減ったことによる収入減などがあがっている。女性で特徴的な悩みとしては更年期がある。男性では再就職の悩みも散見されるが、40代ではリストラによる再就職、50代は定年後の再就職という違いがある。
- ・60代では、男女ともに定年退職後の生活、家族の病気、自分の老化現象などがあがっている(図表3-3-(7))。

図表3-3-(7) この1年間にあった最も大きな悩みや困りごと(自由回答)

年代	女性	男性
20代	【仕事】 就職活動 / 育児休暇をとるか、退職するか / 離婚したばかりで仕事が見つからない / 母子家庭で仕事が見つからない / ハードワークで体調を崩した 【妊娠・出産・子育て】 未婚での出産 / 初めての妊娠・出産・育児	【仕事】 就職活動 / 資格取得 / 【生活】 ストーカー 【健康】 容姿(太った、容姿で判断される)
20代 - 30代 共通	【仕事】 転職 / 解雇不安 / セクハラ・パワハラ / 妊娠報告で解雇(退職勧奨)された 【家族】 恋愛 / 結婚 【生活】 給料が安いので生活が苦しい 【健康】 摂食障害 / 不妊 / 家族の依存症 / やせたい 【妊娠・出産・子育て】 子育ての協力が得られない / 子どもの発達 / ママ友との付き合い	【仕事】 仕事がきつい / 仕事がうまくいかない / 責任のある仕事 / 転職 / 上司と合わない / パワハラ / 会社の業績不振 / 収入が減った、失業した 【家族】 恋愛 / 離婚 【生活】 借金
30代	【仕事】 子育て後の再就職 / パートが職員より仕事をさせられる / 【家族】 未婚であることの周囲からのプレッシャー / 結婚の予定はないが、将来を考えると不安 母子家庭でダブルワークをしても家計が苦しく子どもと接する時間が全くない 【妊娠・出産・子育て】 孫は？ お子さんは？と聞かれる / 子育てがうまくできない / 子どもができて生活が一転、今までのバランスが崩れた	【仕事】 後輩の教育 【健康】 原因不明の体調不良、眠れない、うつ 【妊娠・出産・子育て】 子どもができない / 初めての子育て
40代	【仕事】 忙しい / セクハラ、パワハラ / 仕事がない 【家族】 未婚であることのプレッシャー 【妊娠・出産・子育て】 妊娠 / 不妊 / 子どもの発達	【仕事】 リストラによる再就職 / 転職 【家族】 結婚 / 離婚 / 夫婦関係 / 嫁姑問題
40代 - 50代 共通	【仕事】 夫や自分の減収、失業 【家族】 夫や夫の家族との関係 / 親との同居 / 親の介護 【生活】 相続 / 家計のやりくり / 住宅ローン・借金返済 【健康】 自分や家族の病気 / 年齢にともなう身体の変化 / 腰痛 【妊娠・出産・子育て】 子どもの進学 / 子どもの就職	【仕事】 部下の指導 / 仕事が減った / 職場の人間関係 【家族】 嫁姑問題 / 親との同居 【生活】 減収 / 家計が苦しい / 借金 / 介護 【健康】 体調不良 【子育て】 子どもの進学 / 子どもの結婚
50代	【仕事】 管理職としての責任 【健康】 更年期	【仕事】 定年後の再就職 【生活】 老後の不安 / 近所づきあいのトラブル
60代	【仕事】 定年退職 【家族】 親の介護 / 子どもの結婚 / 孫の世話 【生活】 老後の不安 / 年金生活の不安 【健康】 家族の病気 / 自分の老化現象・体調不良	【仕事】 定年退職 / 仕事がない 【家族】 親の介護 / 一人暮らしの不安 / 子どもの自立 【生活】 定年後の収入源 / 老後の不安 / 年金生活の不安 【健康】 家族の病気 / 自分の老化現象・体調不良

(注) WEBに書き込まれた表現のまま記載しているが、長文については一部要約している。

(2) 解決行動とその評価

悩みや困りごとの解決行動は「インターネット」、「配偶者に相談した、助けを求めた」、「友人、知人に相談した、助けを求めた」という人が最も多い。
 【フォーマル】な解決行動として相談機関に相談している場合、その満足度はいずれも高く、専門職・サービス型の満足度が高い。
 健康、育児、介護、いじめなどは【フォーマル】な解決行動をしているが、結婚・離婚、妊娠、セクハラDV、人間関係では【インフォーマル】な解決行動としてメディアから情報を得たり、家族、友人・知人、近所に相談している。
 同じ悩みをもつ人が集まって話し合う場、講座や勉強会での学習など【中間領域】への満足度が高い。

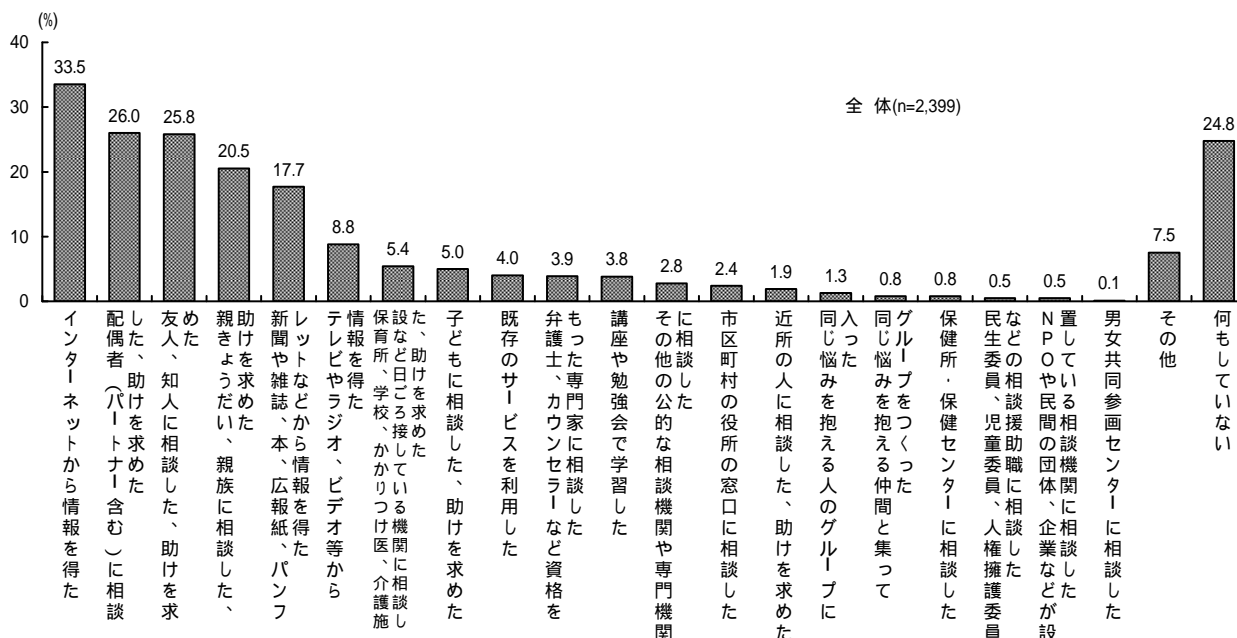
最も大きな悩みや困りごとを解決するために行ったこと(Q18)

解決行動の選択肢 21 項目について

最も大きな悩みや困りごとを解決するために行ったことは、「インターネットから情報を得た(33.5%)」が最も多く、「配偶者(パートナー含む)に相談した、助けを求めた(26.0%)」、「友人、知人に相談した、助けを求めた(25.8%)」が続いている。

なお、4人に1人は「何もしていない(24.8%)」としている(図表3 - 3 - (8))。

図表3 - 3 - (8) 解決行動(全体:複数回答)
 <この1年間に悩みや困りごとが「あった」と答えた人>



- ・男女別にみると、女性は男性に比べて、「配偶者(パートナー含む)に相談した、助けを求めた」、「友人、知人に相談した、助けを求めた」、「親きょうだい、親族に相談した、助けを求めた」が高い。一方男性は、3人に1人が「何もしていない(32.0%)」としており、女性の21.1%を10.9ポイント上回る(図表3 - 3 - (9))。
- ・性・年代別にみると、男女ともに20代は「友人、知人に相談した、助けを求めた」が他の年代に比べて高い。女性の30代は「親きょうだい、親族に相談した、助けを求めた」が他の年代に比べて多い。「何もしていない」が多いのは、女性は50代の24.1%、男性は40代の37.4%、50代の37.6%である(図表3 - 3 - (9))。

図表3 - 3 - (9) 解決行動(全体、男女別、性・年代別:複数回答)
 <この1年間に悩みや困りごとが「あった」と答えた人>

		インターネットから情報を得た	配偶者(パートナー含む)に相談した、助けを求めた	友人、知人に相談した、助けを求めた	親きょうだい、親族に相談した、助けを求めた	新聞や雑誌、本、広報紙、パンフレットなどから情報を得た	テレビやラジオ、ビデオ等から情報を得た	機関に相談した、助けを求めた 保育所、学校、かかりつけ医、介護施設など日ごろ接している	子どもに相談した、助けを求めた	既存のサービスを利用した	弁護士、カウンセラーなど資格をもった専門家に相談した	講座や勉強会で学習した	その他の公的な相談機関や専門機関に相談した	市区町村の役所の窓口相談した	近所の人に相談した、助けを求めた	同じ悩みを抱える人のグループに入った	同じ悩みを抱える仲間と集ってグループをつくった	保健所・保健センターに相談した	民生委員、児童委員、人権擁護委員など相談援助職に相談した	NPOや民間の団体、企業などが設置している相談機関に相談した	男女共同参画センターに相談した	その他	何もしていない	
全	体 (n=2,399)	33.5	26.0	25.8	20.5	17.7	8.8	5.4	5.0	4.0	3.9	3.8	2.8	2.4	1.9	1.3	0.8	0.8	0.5	0.5	0.1	7.5	24.8	
男	性 (n=1,595)	34.2	29.3	28.4	23.7	17.6	8.2	6.2	6.3	3.8	4.5	3.6	2.8	2.4	2.4	1.3	0.4	0.6	0.6	0.4	0.1	7.9	21.1	
女	性 (n= 804)	32.1	19.4	20.5	14.2	17.9	10.1	3.9	2.5	4.5	2.7	4.1	3.0	2.2	0.9	1.1	1.5	1.2	0.4	0.6	0.2	6.8	32.0	
性・年代	女	20代 (n= 315)	40.6	24.8	42.9	29.8	17.1	6.3	2.9	0.0	2.9	5.1	3.5	1.6	2.2	1.3	1.6	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	6.0	17.1
	30代 (n= 357)	37.5	35.0	33.9	32.5	18.2	8.7	8.1	1.1	2.5	3.6	2.2	1.4	1.1	2.8	2.2	0.6	1.1	0.6	0.6	0.0	5.6	21.0	
	40代 (n= 302)	42.7	31.8	23.8	21.5	23.8	8.6	7.3	4.6	6.0	3.0	5.3	3.3	3.0	2.3	1.3	0.7	0.3	0.7	0.7	0.3	7.9	19.5	
	50代 (n= 357)	27.5	28.9	23.8	17.4	14.3	9.2	4.8	12.9	4.8	5.9	3.4	3.6	2.5	3.1	0.3	0.8	0.0	0.3	0.3	0.0	8.1	24.1	
	60代 (n= 264)	21.6	25.0	15.2	15.5	14.4	8.0	8.3	13.6	3.0	4.9	3.8	4.2	3.8	2.3	1.1	0.0	1.5	0.4	0.4	0.0	12.9	23.9	
	男	20代 (n= 166)	42.8	12.0	31.9	25.3	21.7	12.7	1.8	0.0	3.0	0.0	3.6	2.4	1.2	1.8	0.6	1.2	0.0	0.0	0.6	0.0	4.8	27.7
	30代 (n= 181)	34.8	21.0	22.1	12.2	18.2	11.0	2.8	0.6	5.5	4.4	3.3	2.2	3.3	0.6	2.8	2.8	1.7	0.6	1.1	1.1	7.7	29.8	
	40代 (n= 147)	33.3	19.7	13.6	12.9	18.4	9.5	5.4	1.4	2.0	4.8	4.8	1.4	0.7	0.0	1.4	2.0	0.7	0.0	0.0	0.0	5.4	37.4	
	50代 (n= 181)	24.9	20.4	15.5	9.4	13.3	6.1	3.9	5.0	5.0	1.7	4.4	3.3	1.7	0.6	0.0	0.0	1.7	0.6	0.0	0.0	8.3	37.6	
	60代 (n= 129)	23.3	24.8	18.6	10.9	18.6	11.6	6.2	6.2	7.0	3.1	4.7	6.2	4.7	1.6	0.8	1.6	2.3	0.8	1.6	0.0	7.8	26.4	

解決行動を7パターンに分類

最も大きな悩みの解決行動を次のように分類して、分析した。

解決行動類別		解決行動	
インフォーマル	メディア型	1	新聞や雑誌、本、広報紙、パンフレットなどから情報を得た
		2	テレビやラジオ、ビデオ等から情報を得た
		3	インターネットから情報を得た
	対人関係型	4	配偶者(パートナー含む)に相談した、助けを求めた
		5	子どもに相談した、助けを求めた
		6	親きょうだい、親族に相談した、助けを求めた
		7	友人、知人に相談した、助けを求めた
		8	近所の人に相談した、助けを求めた
中間域	グループ型	9	講座や勉強会で学習した
		10	同じ悩みを抱える人のグループに入った
		11	同じ悩みを抱える仲間と集ってグループをつくった
フォーマル	専門職・サービス型	12	既存のサービスを利用した
		13	保育所、学校、かかりつけ医、介護施設など日ごろ接している機関に相談した、助けを求めた
		14	民生委員、児童委員、人権擁護委員などの相談援助職に相談した
		15	弁護士、カウンセラーなど資格をもった専門家に相談した
	公的機関型	16	市区町村の役所の窓口で相談した
		17	保健所・保健センターに相談した
		18	男女共同参画センターに相談した
		19	その他の公的な相談機関や専門機関に相談した
		20	NPOや民間の団体、企業などが設置している相談機関に相談した
		21	その他
その他	21	その他	
何もしていない	22	何もしていない	

解決行動7パターンについて(図表3 - 3 - (10))

- ・解決行動を類別すると、【インフォーマル】の対人関係型が 52.3%、メディア型が 38.1%で【インフォーマル】な解決行動が多い。
- ・男女別にみると、女性は男性に比べて【インフォーマル】の対人関係型の割合が多い。
- ・性・年代別にみると、女性の20代、30代は【インフォーマル】の対人関係型が他の年代に比べて多い。男性の20代は【インフォーマル】のメディア型、対人関係型が他の年代に比べて多く、【フォーマル】の専門職・サービス型が少ない。
- 60代は男女ともに【フォーマル】の専門職・サービス型、公的機関型が他の年代に比べて多い。
- ・家族の同居・近居のパターン別にみると、同居・近居の家族がともいない人ほど【インフォーマル】のメディア型の割合は多く、同居・近居の家族がともにいる人ほど【インフォーマル】の対人関係型の割合は多くなる。
- ・仕事や学校外の参加の活動状況別にみると、活動がある、なしで解決行動に大きな違いはみられない。

図表3 - 3 - (10) 解決行動 - 類別

(全体、男女別、性・年代別、同居・近居別、活動の有無別：複数回答)

<この1年間に悩みや困りごとが「あった」と答えた人>

			インフォーマル		中間領域	フォーマル		その他	何もしていない
			メディア型	対人関係型	グループ型	専門職・サービス型	公的機関型		
全	体	(N=2,399)	38.1	52.3	5.1	12.7	5.8	7.5	24.8
男女	女	性 (n=1,595)	38.6	57.7	4.8	13.5	5.7	7.9	21.1
	男	性 (n= 804)	37.1	41.5	5.7	11.1	5.8	6.8	32.0
性・年代別	女	20代 (n= 315)	44.1	64.1	5.1	10.5	3.8	6.0	17.1
		30代 (n= 357)	40.3	63.9	4.2	13.2	3.9	5.6	21.0
		40代 (n= 302)	46.0	56.0	6.0	14.9	7.0	7.9	19.5
		50代 (n= 357)	33.9	54.3	4.5	13.4	6.2	8.1	24.1
		60代 (n= 264)	27.3	48.5	4.2	16.3	8.3	12.9	23.9
	男	20代 (n= 166)	45.2	50.6	4.8	4.8	3.0	4.8	27.7
		30代 (n= 181)	39.8	40.3	6.6	12.2	6.1	7.7	29.8
		40代 (n= 147)	34.7	36.7	6.8	12.2	2.7	5.4	37.4
		50代 (n= 181)	28.7	35.9	4.4	11.0	6.1	8.3	37.6
		60代 (n= 129)	37.2	45.0	6.2	16.3	12.4	7.8	26.4
同居・近居	同居・近居の家族がいる	(n=1,228)	35.8	54.3	6.0	14.1	6.4	7.9	23.9
	同居家族のみいる	(n= 765)	38.7	51.4	3.7	10.8	5.6	7.5	25.2
	近居家族のみいる	(n= 113)	40.7	50.4	4.4	11.5	5.3	7.1	23.9
	同居・近居の家族はいない	(n= 293)	44.7	47.1	5.1	12.3	3.8	6.5	27.3
活有動無	活動している	(n=1,010)	39.5	55.5	7.4	14.4	5.6	8.5	20.3
	活動していない	(n=1,389)	37.0	50.0	3.4	11.5	5.8	6.8	28.0

最も大きな悩みや困りごととその解決行動 21 項目について(図表3 - - 3 - (11))

- ・最も大きな悩みや困りごと別に解決行動をみると、最も大きな悩みで1位にあげられた仕事、雇用、転職、再就職、起業の解決行動は、「インターネット(33.9%)」、「友人(27.4%)」、「新聞・雑誌(20.4%)」の順に高いが、「何もしていない」が28.7%である。
- 2位の健康、病気、障害などは、「インターネット(51.6%)」が最も多く、「配偶者(29.5%)」が続く。
- ・3位の家計、借金、相続などは、「配偶者(24.8%)」、「インターネット(23.4%)」の順に多いが、「何もしていない」が34.3%である。
- ・最も大きな悩み別に各解決行動が全体よりも15ポイント以上上回るものをみると、健康、病気、障害などでは「インターネット」、恋愛、結婚、離婚、夫婦の関係などでは「友人、知人」、育児、子育て、教育などでは「配偶者」、友人、知人との関係や職場の人間関係などでは「友人、知人」、介護、高齢期の住まい方などでは「既存のサービス」、性格、容姿などでは「インターネット」、進学、進路などでは「新聞、雑誌」、「友人、知人」、妊娠、出産などでは「インターネット」、「配偶者」、「親、きょうだい」、学習、勉強などでは「新聞、雑誌」、「インターネット」、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントなどでは「友人、知人」、差別、いじめなどでは「子ども」、ストーカー、DVなどでは「男女共同参画センター」となっている。
- ・家計、借金、相続など、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、生き方・暮らし方は「何もしていない」が30%を超える。

図表3 - 3 - (11) 解決行動(全体、最も大きな悩み別:複数回答)

<この1年間に悩みや困りごとが「あった」と答えた人>

			インフォーマル (メディア型)		インフォーマル (対人関係型)					中間領域 (グループ型)			フォーマル (専門職・サービス型)				フォーマル (公的機関型)				その他	何もしていない	(%)		
			新聞や雑誌、本、広報紙、パンフレットなどから情報を得た	テレビやラジオ、ビデオ等から情報を得た	インターネットから情報を得た	配偶者(パートナー含む)に相談した、助けを求めた	子どもに相談した、助けを求めた	親きょうだい、親族に相談した、助けを求めた	友人、知人に相談した、助けを求めた	近所の人に相談した、助けを求めた	講座や勉強会で学習した	同じ悩みを抱える人のグループに入った	同じ悩みを抱える仲間と集ってグループをつくった	既存のサービスを利用した	機関に相談した、助けを求めた	保育所、学校、かかりつけ医、介護施設など日ごろ接している	民生委員、児童委員、人権擁護委員など相談援助職に相談した	弁護士、カウンセラーなど資格をもった専門家に相談した	市区町村の役所の窓口で相談した	保健所・保健センターに相談した				男女共同参画センターに相談した	その他の公的な相談機関や専門機関に相談した
全	体	(n=2399)	17.7	8.8	33.5	26.0	5.0	20.5	25.8	1.9	3.8	1.3	0.8	4.0	5.4	0.5	3.9	2.4	0.8	0.1	2.8	0.5	7.5	24.8	
女	性	(n=1,595)	17.6	8.2	34.2	29.3	6.3	23.7	28.4	2.4	3.6	1.3	0.4	3.8	6.2	0.6	4.5	2.4	0.6	0.1	2.8	0.4	7.9	21.1	
男	性	(n= 804)	17.9	10.1	32.1	19.4	2.5	14.2	20.5	0.9	4.1	1.1	1.5	4.5	3.9	0.4	2.7	2.2	1.2	0.2	3.0	0.6	6.8	32.0	
性・年代	女	20代	(n= 315)	17.1	6.3	40.6	24.8	0.0	29.8	42.9	1.3	3.5	1.6	0.0	2.9	2.9	1.3	5.1	2.2	0.0	0.0	1.6	0.0	6.0	17.1
		30代	(n= 357)	18.2	8.7	37.5	35.0	1.1	32.5	33.9	2.8	2.2	2.2	0.6	2.5	8.1	0.6	3.6	1.1	1.1	0.0	1.4	0.6	5.6	21.0
		40代	(n= 302)	23.8	8.6	42.7	31.8	4.6	21.5	23.8	2.3	5.3	1.3	0.7	6.0	7.3	0.7	3.0	3.0	0.3	0.3	3.3	0.7	7.9	19.5
	男	50代	(n= 357)	14.3	9.2	27.5	28.9	12.9	17.4	23.8	3.1	3.4	0.3	0.8	4.8	4.8	0.3	5.9	2.5	0.0	0.0	3.6	0.3	8.1	24.1
		60代	(n= 264)	14.4	8.0	21.6	25.0	13.6	15.5	15.2	2.3	3.8	1.1	0.0	3.0	8.3	0.4	4.9	3.8	1.5	0.0	4.2	0.4	12.9	23.9
		20代	(n= 166)	21.7	12.7	42.8	12.0	0.0	25.3	31.9	1.8	3.6	0.6	1.2	3.0	1.8	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	2.4	0.6	4.8	27.7
性	30代	(n= 181)	18.2	11.0	34.8	21.0	0.6	12.2	22.1	0.6	3.3	2.8	2.8	5.5	2.8	0.6	4.4	3.3	1.7	1.1	2.2	1.1	7.7	29.8	
	40代	(n= 147)	18.4	9.5	33.3	19.7	1.4	12.9	13.6	0.0	4.8	1.4	2.0	2.0	5.4	0.0	4.8	0.7	0.7	0.0	1.4	0.0	5.4	37.4	
	50代	(n= 181)	13.3	6.1	24.9	20.4	5.0	9.4	15.5	0.6	4.4	0.0	0.0	5.0	3.9	0.6	1.7	1.7	1.7	0.0	3.3	0.0	8.3	37.6	
	60代	(n= 129)	18.6	11.6	23.3	24.8	6.2	10.9	18.6	1.6	4.7	0.8	1.6	7.0	6.2	0.8	3.1	4.7	2.3	0.0	6.2	1.6	7.8	26.4	
最も大きな悩み	仕事、雇用、転職、再就職、起業など	(n= 623)	20.4	9.8	33.9	18.6	1.3	17.7	27.4	0.5	5.9	0.8	1.1	5.1	1.0	0.0	1.8	1.9	0.5	0.0	4.8	0.6	6.6	28.7	
	健康、病気、障害など	(n= 322)	24.2	12.7	51.6	29.5	8.4	20.2	18.0	3.4	2.8	2.2	0.6	2.8	18.6	0.9	3.7	2.8	1.9	0.0	1.6	0.6	13.0	14.0	
	家計、借金、相続など	(n= 286)	10.5	5.6	23.4	24.8	5.6	19.2	9.8	0.3	1.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.3	5.2	2.4	0.0	0.0	2.8	0.3	6.6	34.3	
	家族、親戚との関係や家制度など	(n= 171)	5.3	3.5	16.4	30.4	11.1	31.6	21.6	2.3	1.2	1.2	0.0	1.8	1.8	0.6	4.1	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	29.2	
	恋愛、結婚、離婚、夫婦の関係など	(n= 158)	13.3	5.7	31.0	12.0	4.4	20.3	45.6	1.9	1.9	1.3	0.6	2.5	1.9	0.6	6.3	1.3	0.6	0.0	0.6	0.0	3.8	25.9	
	育児、子育て、教育など	(n= 148)	19.6	6.8	30.4	57.4	4.7	31.1	29.1	5.4	4.1	2.7	0.0	1.4	13.5	0.0	2.0	1.4	1.4	0.0	2.0	0.7	6.8	14.9	
	メンタルヘルス、ストレスなど	(n= 139)	12.2	7.9	33.8	25.9	3.6	16.5	23.7	1.4	1.4	1.4	0.0	1.4	5.8	1.4	7.9	1.4	0.7	0.0	0.7	0.0	14.4	20.9	
	友人、知人との関係や職場の人間関係など	(n= 119)	8.4	5.0	16.0	18.5	4.2	10.9	48.7	2.5	0.8	1.7	1.7	1.7	1.7	0.0	4.2	1.7	0.8	0.8	0.8	0.8	11.8	26.9	
	生き方、暮らし方など	(n= 102)	24.5	13.7	35.3	25.5	3.9	12.7	23.5	2.0	6.9	0.0	2.0	2.0	2.0	1.0	3.9	2.9	0.0	0.0	2.0	1.0	3.9	30.4	
	介護、高齢期の住まい方など	(n= 97)	26.8	15.5	35.1	35.1	11.3	24.7	23.7	5.2	6.2	1.0	1.0	22.7	16.5	4.1	3.1	10.3	2.1	0.0	5.2	0.0	1.0	13.4	
	性格、容姿など	(n= 40)	20.0	15.0	50.0	20.0	5.0	7.5	27.5	0.0	5.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	27.5	
	進学、進路など	(n= 39)	35.9	7.7	41.0	17.9	7.7	30.8	43.6	2.6	5.1	0.0	0.0	2.6	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	28.2	
	妊娠、出産など	(n= 38)	31.6	15.8	60.5	71.1	0.0	39.5	39.5	0.0	2.6	2.6	5.3	2.6	2.6	0.0	2.6	0.0	2.6	2.6	7.9	0.0	2.6	13.2	
	学習、勉強など	(n= 26)	38.5	19.2	53.8	23.1	3.8	26.9	34.6	0.0	23.1	3.8	3.8	7.7	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	
	セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントな差別、いじめなど	(n= 18)	5.6	5.6	33.3	11.1	0.0	16.7	50.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	33.3	
	ストーカー、DVなど	(n= 7)	0.0	0.0	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	
その他	(n= 60)	10.0	3.3	31.7	25.0	5.0	23.3	11.7	1.7	5.0	5.0	1.7	5.0	6.7	0.0	10.0	5.0	3.3	0.0	3.3	1.7	20.0	28.3		

網掛けは全体を15ポイント以上上回る

最も大きな悩みや困りごとと解決行動のパターンについて(図表3 - - 3 - (12))

- ・最も大きな悩みや困りごとと解決行動21項目のうち、1位が平均以上の項目についての類型の上位3位までをみると、【フォーマル】な相談をしているもの、【フォーマル】な相談に至らないもの、【中間領域】のグループ行動をしているもの、という3つのパターンに分けられる。
- ・各項目での解決行動は【インフォーマル】がいずれも1位ではあるが3位まで見ると、【フォーマル】な相談をしているのは、「介護、高齢期の住まい方」が34.0%と最も高く、「ストーカー・DVなど」(33.3%)、「健康、病気、障害など」(25.2%)、「育児・子育て、教育など」(16.2%)が続く。「健康、病気、障害など」、「育児、子育て、教育など」や「介護、高齢期の住まい方など」である。「育児、子育て、教育など」は【インフォーマル】(対人関係型)での解決行動の割合がもっとも高く、「介護、高齢期の住まい方」は【フォーマル】(専門職・サービス型)が最も高い。
- ・【フォーマル】な相談に至らないのは、すべての項目でインフォーマルな解決行動がほぼ1位を占めており、なかでも、「ストーカー、DV」が100%と最も高く、「育児・子育て、教育」(75.7%)、「妊娠・出産など」(73.7%)、「差別、いじめなど」(71.4%)が続く。「育児、子育て、教育など」はフォーマル行動でも高い割合を示している。「恋愛、結婚、離婚、夫婦の関係など」、「セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント」、「ストーカー、DVなど」、「家族、親戚との関係や家制度など」、「友人、知人との関係や職場の人間関係など」などである。

図表3 - - 3 - (12) 解決行動 - 最も大きな悩み別にみた解決行動パターン

(%)

テーマ	第1位	第2位	第3位
全体	インフォーマル(対人関係型) 52.3	インフォーマル(メディア型) 38.1	何もしていない 24.8
進学、進路など	インフォーマル(対人関係型) 59.0	インフォーマル(メディア型) 53.8	何もしていない 28.2
学習、勉強など	インフォーマル(メディア型) 61.5	インフォーマル(対人関係型) 57.7	中間領域(グループ型) 23.1
健康、病気、障害 など	インフォーマル(メディア型) 56.5	インフォーマル(対人関係型) 49.4	フォーマル(専門職サービス型) 25.2
恋愛、結婚、離婚、 夫婦の関係など	インフォーマル(対人関係型) 61.4	インフォーマル(メディア型) 34.8	何もしていない 25.9
妊娠、出産など	インフォーマル(対人関係型) 73.7	インフォーマル(メディア型) 60.5	何もしていない 13.2
育児、子育て、教育 など	インフォーマル(対人関係型) 75.7	インフォーマル(メディア型) 35.1	フォーマル(専門職サービス型) 16.2
介護、高齢期の住ま い方など	インフォーマル(対人関係型) 62.9	インフォーマル(メディア型) 45.4	フォーマル(専門職サービス型) 34.0
セクシュアル・ハラ スメント、パワー・ハラ スメントなど	インフォーマル(対人関係型) 50.0	インフォーマル(メディア型) 何もしていない 33.3	フォーマル(専門職サービス型) 11.1
ストーカー、DVなど	インフォーマル(対人関係型) 100.0	インフォーマル(メディア型) フォーマル(公的機関型) 33.3	フォーマル(専門職サービス型) 16.7
家族、親戚との関係 や家制度など	インフォーマル(対人関係型) 60.2	何もしていない 29.2	インフォーマル(メディア型) 19.9
友人、知人との関係 や職場の人間関係 など	インフォーマル(対人関係型) 60.5	何もしていない 26.9	インフォーマル(メディア型) 17.6
差別、いじめなど	インフォーマル(対人関係型) 71.4	インフォーマル(メディア型) 28.6	フォーマル(専門職サービス型) その他 14.3

性格、容姿など	インフォーマル(メディア型) 57.5	インフォーマル(対人関係型) 40.0	何もしていない 27.5
---------	------------------------	------------------------	-----------------

1位が平均以上のものに着目、3位まで。

フォーマルな相談(専門職・サービス、公的機関)に至らない

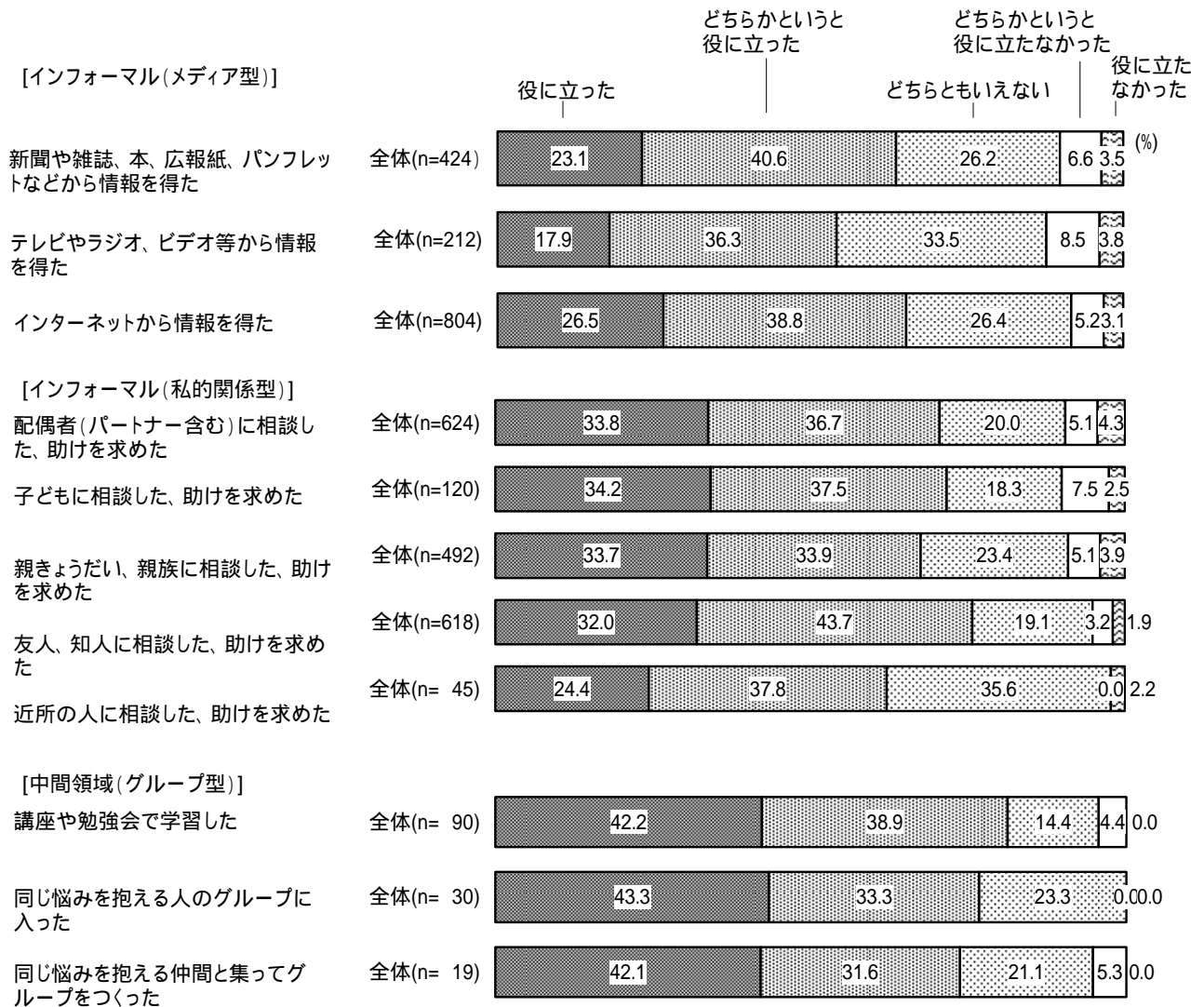
フォーマルな相談(専門職・サービス、公的機関)をしている

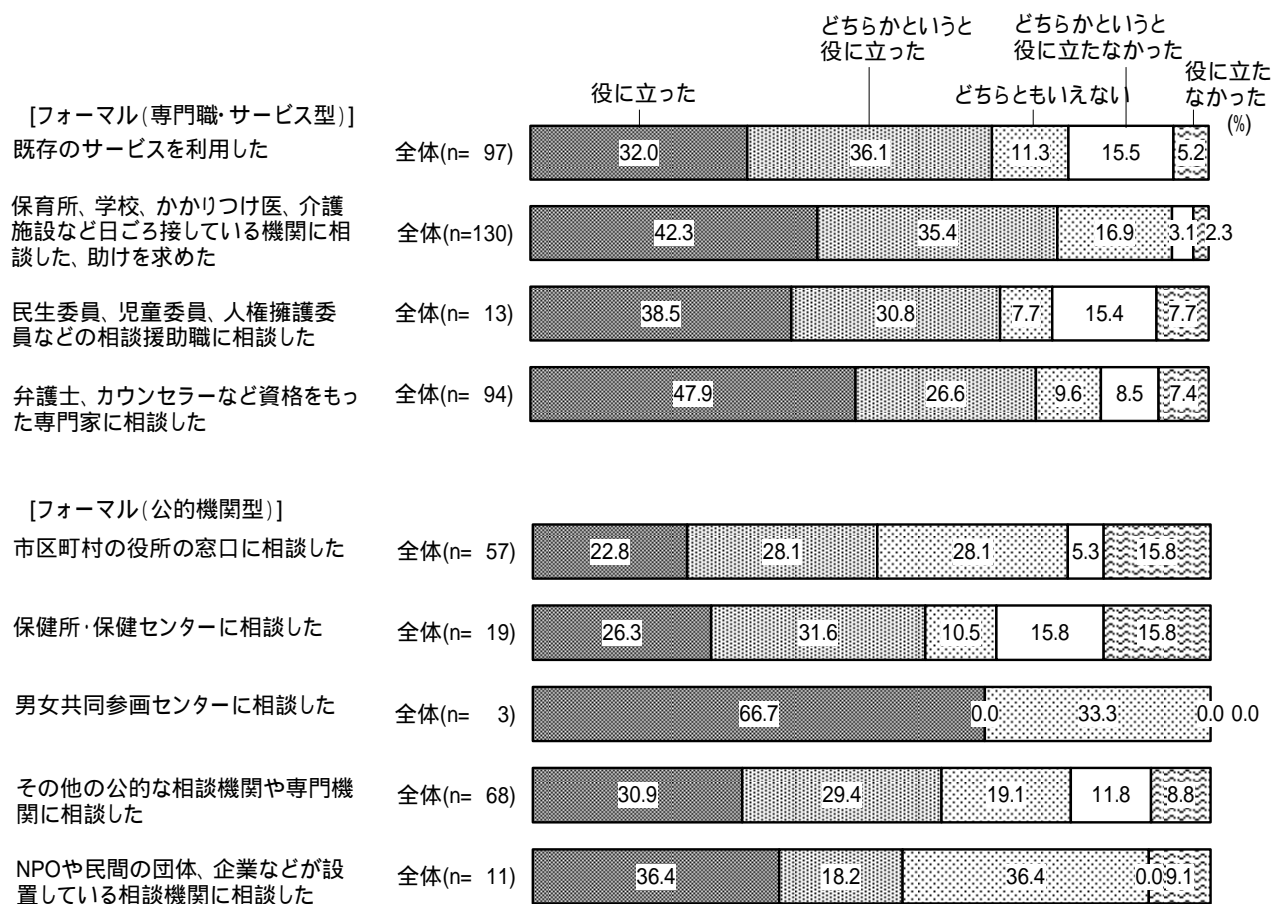
グループ行動もしている

解決行動の評価(Q18-1)

- ・最も大きな悩みの解決行動への評価をみると、「弁護士などの専門家(47.9%)」や「同じ悩みをかかえる人のグループに(43.3%)」、「保育所、学校、かかりつけ医など日ごろ接している機関(42.3%)」など、【フォーマル】でも専門職・サービス型への評価が高い(図表3 - 3 - (13))。
- ・『役に立たなかった』は、「市区町村の役所の窓口(15.8%)」、「保健所(15.8%)」が多い(図表3 - 3 - (13))。

図表3 - 3 - (13) 解決行動への評価(全体)
<この1年間に悩みや困りごとが「あった」と答えた人>





(注)「男女共同参画センター」は、回答者数が少ないため分析からはずしている。

・「役に立った」を4点、「どちらかという役に立った」を3点、「どちらともいえない」を2点、「どちらかという役に立たなかった」を1点、「役に立たなかった」を0点とし加重平均を求めたところ、平均の3点を超える項目は21項目中6項目で、「男女共同参画センター」が3.33で最も点数が高く、次いで「同じ悩みを抱える人のグループに入った」が3.20、「講座や勉強会で学習した」が3.19となった。【中間領域】は3項目だがいずれも3点以上となっている(図表3 - 3 - (14))。

図表3 - 3 - (14) 解決行動への評価 - 点数化 - (全体)
 <この1年間に悩みや困りごとが「あった」と答えた人>

解決行動		点数	解決行動		点数	
インフォーマル	メディア	新聞や雑誌、本、広報紙、パンフレットなどから情報を得た	2.73	専門職サービス	既存のサービスを利用した	2.74
		テレビやラジオ、ビデオ等から情報を得た	2.56		保育所、学校、かかりつけ医、介護施設など日ごろ接している機関に相談した、助けを求めた	3.12
		インターネットから情報を得た	2.80		民生委員、児童委員、人権擁護委員などの相談援助職に相談した	2.77
	対人関係	配偶者(パートナー含む)に相談した、助けを求めた	2.91		弁護士、カウンセラーなど資格をもった専門家に相談した	2.99
		子どもに相談した、助けを求めた	2.93	フォーマル	市区町村の役所の窓口で相談した	2.37
		親きょうだい、親族に相談した、助けを求めた	2.89		保健所・保健センターに相談した	2.37
		友人、知人に相談した、助けを求めた	3.01		公的機関	男女共同参画センターに相談した
	近所の人に相談した、助けを求めた	2.82	その他の公的な相談機関や専門機関に相談した			2.62
	中間領域(グループ)	講座や勉強会で学習した	3.19	その他	NPOや民間の団体、企業などが設置している相談機関に相談した	2.73
		同じ悩みを抱える人のグループに入った	3.20		その他	その他
同じ悩みを抱える仲間と集ってグループをつくった		3.11				

「役に立った」= 4点、「どちらかという役に立った」= 3点、「どちらともいえない」= 2点、「どちらかという役に立たなかった」= 1点、「役に立たなかった」= 0点として加重平均した。

(3) 悩みや困りごとをひとりで抱え込んだ経験

解決できずにひとりで抱え込んだ経験のある人は63.2%。男性のほうが悩みを抱え込んでいる。

「仕事、雇用等」の悩みが多く、「恋愛、結婚、離婚、夫婦の関係など」の悩みが続く。

日頃ストレスを感じている人ほど悩みを抱え込んだ経験がある。一人暮らし、女性20代、男性20代、30代、気軽に話せる人がいないといった人ほどひとりで抱え込んだ経験があるという割合が高い。

ひとりで抱え込んだ理由をみると、「相談しても解決できないと思ったから」が男女とも最も多い。男女で回答に差がみられた項目についてみると、女性の割合が高い項目が多い中、男性の割合が高い項目をみると、「相談するほどのことではない。」が4.8ポイントと最も大きな差となっている。一方、女性は「がまんすればなんとかやっていける」が、男性に比べ8.9ポイントとかなり高い。

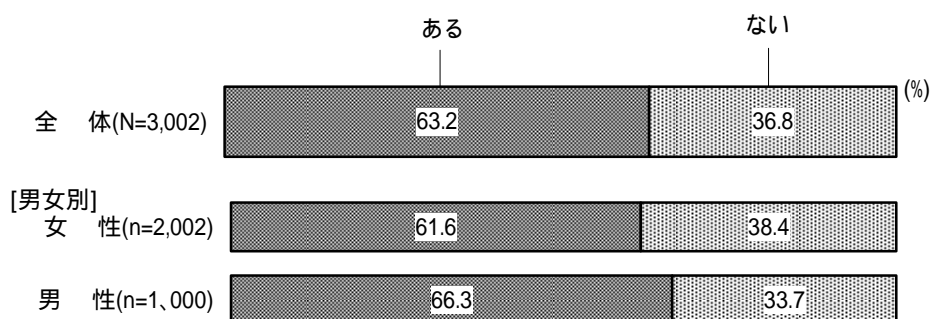
解決行動がとれないとき、あればよいと思った解決手段は、「話し相手」、「情報」、「同じような悩みをもった人同士が語れる場」。

悩みや困りごとを解決できずにひとりで抱え込んだ経験(Q19)

・悩みや困りごとを解決できずにひとりで抱え込んだ経験は、「ある」が63.2%、「ない」が36.8%である(図表3-3-(15))。

・男女別にみると、「ある」は、女性61.6%、男性66.3%で、男性のほうが4.7ポイント高い(図表3-3-(15))。

図表3-3-(15) 悩みや困りごとをひとりで抱え込んだ経験(全体)



・性・年代別にみると、ひとりで抱え込んだ経験が「ある」のは、女性は 20 代(69.1%)、男性 20 代(70.4%)、30 代(71.0%)である(図表3 - - 3 - (16))。

女性は年代があがるにしたがって「ある」割合は少なくなるが、男性は 50 代までは「ある」割合は 70%前後を維持している。

男女の違いを年代別にみると、20 代から 60 代までいずれの年代も男性のほうが女性よりも「ある」割合が多く、30 代では 5.1 ポイント、40 代では 4.4 ポイント、50 代では 9.6 ポイント高い(図表3 - - 3 - (16))。

・ストレスの有無別にみると、「ある」と回答したのは、ストレスを感じている人は 63.2%、ストレスを感じていない人は 15.5%である(図表3 - - 3 - (16))。

・同居、近居のパターン別にみると、同居・近居の家族がいない人は、ひとりで抱え込んだ経験の「ある」割合が多くなる(図表3 - - 3 - (16))。

・仕事や学校以外の参加の活動状況別にみると、活動していない人は活動している人よりもひとりで抱え込んだ経験の「ある」割合がわずかに多い(図表3 - - 3 - (16))。

図表3 - 3 - (16) 悩みや困りごとをひとりで抱え込んだ経験
(全体、男女別、性・年代別、世帯収入別、ストレスの有無別、同居・近居、活動の有無別)

			(%)	
			あ る	な い
全	体	(N=3,002)	63.2	36.8
男女	女	性 (n=2,002)	61.6	38.4
	男	性 (n=1,000)	66.3	33.7
性・年代	女	20代 (n= 356)	69.1	30.9
		30代 (n= 425)	65.9	34.1
		40代 (n= 368)	63.3	36.7
		50代 (n= 454)	58.4	41.6
		60代 (n= 399)	52.6	47.4
	男	20代 (n= 186)	70.4	29.6
		30代 (n= 217)	71.0	29.0
		40代 (n= 189)	67.7	32.3
		50代 (n= 225)	68.0	32.0
		60代 (n= 183)	53.0	47.0
世帯収入	100万円未満 (n= 111)	69.4	30.6	
	100万円～200万円未満 (n= 136)	74.3	25.7	
	200万円～300万円未満 (n= 320)	66.3	33.8	
	300万円～400万円未満 (n= 393)	64.9	35.1	
	400万円～500万円未満 (n= 412)	60.7	39.3	
	500万円～600万円未満 (n= 374)	61.2	38.8	
	600万円～700万円未満 (n= 238)	63.4	36.6	
	700万円～800万円未満 (n= 240)	63.3	36.7	
	800万円～900万円未満 (n= 175)	58.9	41.1	
	900万円～1,000万円未満 (n= 187)	59.9	40.1	
	1,000万円～1,500万円未満 (n= 316)	60.8	39.2	
1,500万円以上 (n= 100)	63.0	37.0		
ストレスの有無	感じている (n= 831)	63.2	36.8	
	どちらかといえば感じている (n=1,220)	85.0	15.0	
	どちらかといえば感じていない (n= 790)	44.7	55.3	
	感じていない (n= 161)	15.5	84.5	
同居・近居	同居・近居の家族がいる (n=1,522)	61.2	38.8	
	同居家族のみいる (n= 994)	62.5	37.5	
	近居家族のみいる (n= 130)	68.5	31.5	
	同居・近居の家族はいない (n= 356)	71.9	28.1	
活有動無	活動している (n=1,273)	61.7	38.3	
	活動していない (n=1,729)	64.3	35.7	

・気軽に話せる人の有無別にみると、気軽に話せる人がいない人はいる人よりもひとりで抱え込んだ経験の「ある」割合が多い。

とくに家族に気軽に話せる人がいない人は84.8%が「ある」としており、家族に気軽に話せる人がいる人よりも25.0ポイント高い(図表3 - 3 - (17))。

図表3 - 3 - (17) 悩みや困りごとをひとりで抱え込んだ経験
(全体、気軽に話せる人の有無別、同居・近居と活動の有無別)

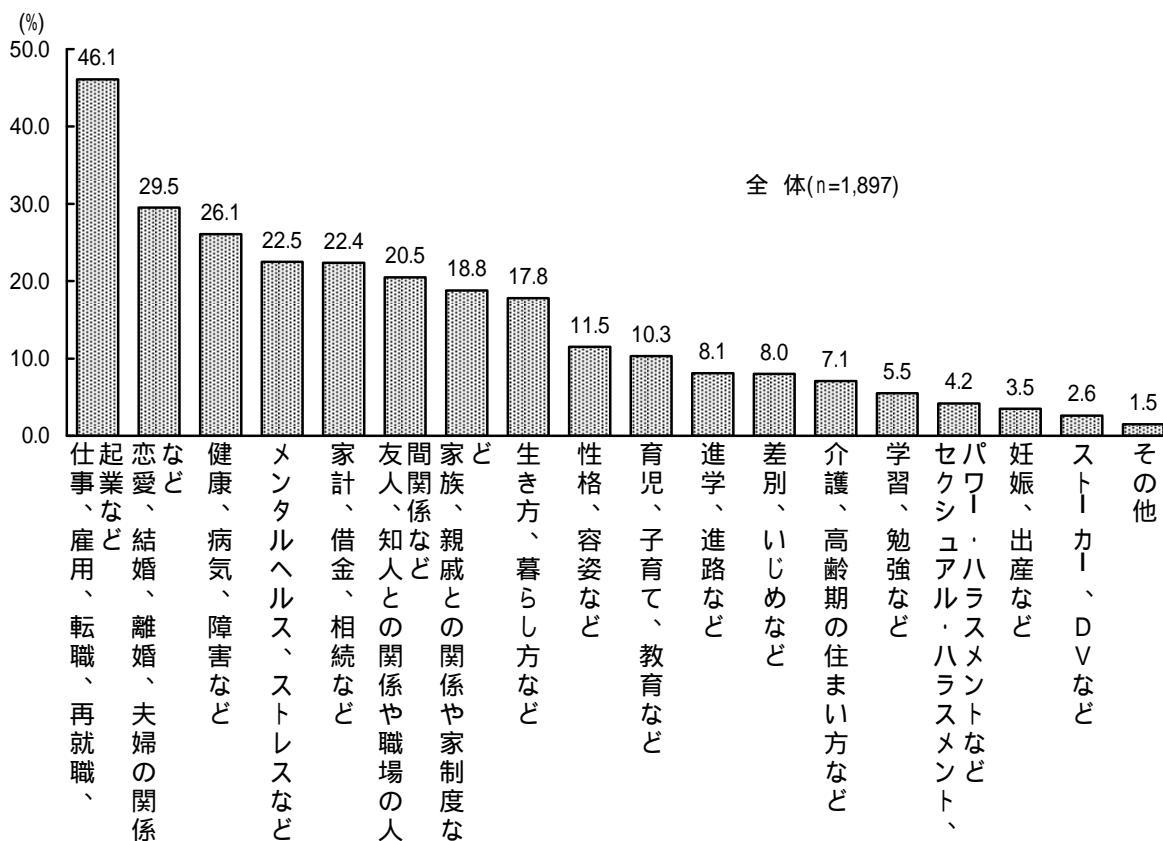
			(%)		
			あ る	な い	
全 体 (N=3,002)			63.2	36.8	
気 軽 に 話 せ る 人 の 有 無	家 族	気軽に話せる人がいる	(n=2,546)	59.8	40.2
		気軽に話せる人がいない	(n= 356)	84.8	15.2
	友 人 知 人	気軽に話せる人がいる	(n=2,287)	59.8	40.2
		気軽に話せる人がいない	(n= 580)	76.7	23.3
		友人・知人はいない	(n= 135)	63.0	37.0
	職 場	気軽に話せる人がいる	(n=1,175)	59.8	40.2
		気軽に話せる人がいない	(n= 771)	76.0	24.0
	近 所	気軽に話せる人がいる	(n= 887)	53.1	46.9
		気軽に話せる人がいない	(n=1,247)	68.1	31.9
		となり近所とのつきあいがなし	(n= 868)	66.5	33.5
ネ ッ ト	気軽に話せる人がいる	(n= 556)	64.4	35.6	
	気軽に話せる人がいない	(n=1,943)	65.4	34.6	
同 居 ・ 近 居 × 活 動 の 有 無	同居・近居の家族がいる-活動している		(n= 722)	59.7	40.3
	同居・近居の家族がいる-活動していない		(n= 800)	62.5	37.5
	同居家族のみいる-活動している		(n= 393)	62.1	37.9
	同居家族のみいる-活動していない		(n= 601)	62.7	37.3
	近居家族のみいる-活動している		(n= 44)	70.5	29.5
	近居家族のみいる-活動してい ない		(n= 86)	67.4	32.6
	同居・近居の家族はいない-活動している		(n= 114)	70.2	29.8
	同居・近居の家族はいない-活動していない		(n= 242)	72.7	27.3

ひとりで抱え込んだ悩みや困りごとの内容(Q20)

・ひとりで抱え込んだ悩みや困りごとは、「仕事、雇用、転職、再就職、起業など(46.1%)」が最も多く、「恋愛、結婚、離婚、夫婦の関係など(29.5%)」、「健康、病気、障害など(26.1%)」、「メンタルヘルス・ストレスなど(22.5%)」、「家計、借金、相続など(22.4%)」が続いている(図表3 - 3 - (18))。

図表3 - 3 - (18) ひとりで抱え込んだ悩みや困りごとの内容(全体:複数回答)

< 悩みや困りごとを解決できずにひとりで抱え込んだことが「ある」と答えた人 >



- ・男女別にみると、女性は「家族、親戚との関係や家制度など」が男性に比べて多い。男性は「仕事、雇用、転職、再就職、起業など」が63.3%で群を抜いて多い(図表3 - 3 - (19))。
- ・性・年代別にみると、女性の20代は、悩みや困りごとの内容18項目のうち9項目で最も高い割合を示し、他の年代に比べて悩みや困りごとが多岐に渡っている。なかでも「恋愛、結婚、離婚、夫婦の関係など」、「メンタルヘルス・ストレスなど」、「性格、容姿など」が他の年代に比べて高い。男性の20代も同様に、悩みや困りごとの内容18項目のうち7項目で最も高い割合を示し、なかでも「生き方、暮らし方」、「進学、進路など」、「学習、勉強など」、「性格、容姿など」が他の年代に比べて高い(図表3 - 3 - (19))。

図表3 - 3 - (19) ひとりで抱え込んだ悩みや困りごとの内容(全体 男女別 性・年代別:複数回答)

< 悩みや困りごとを解決できずにひとりで抱え込んだことが「ある」と答えた人 >

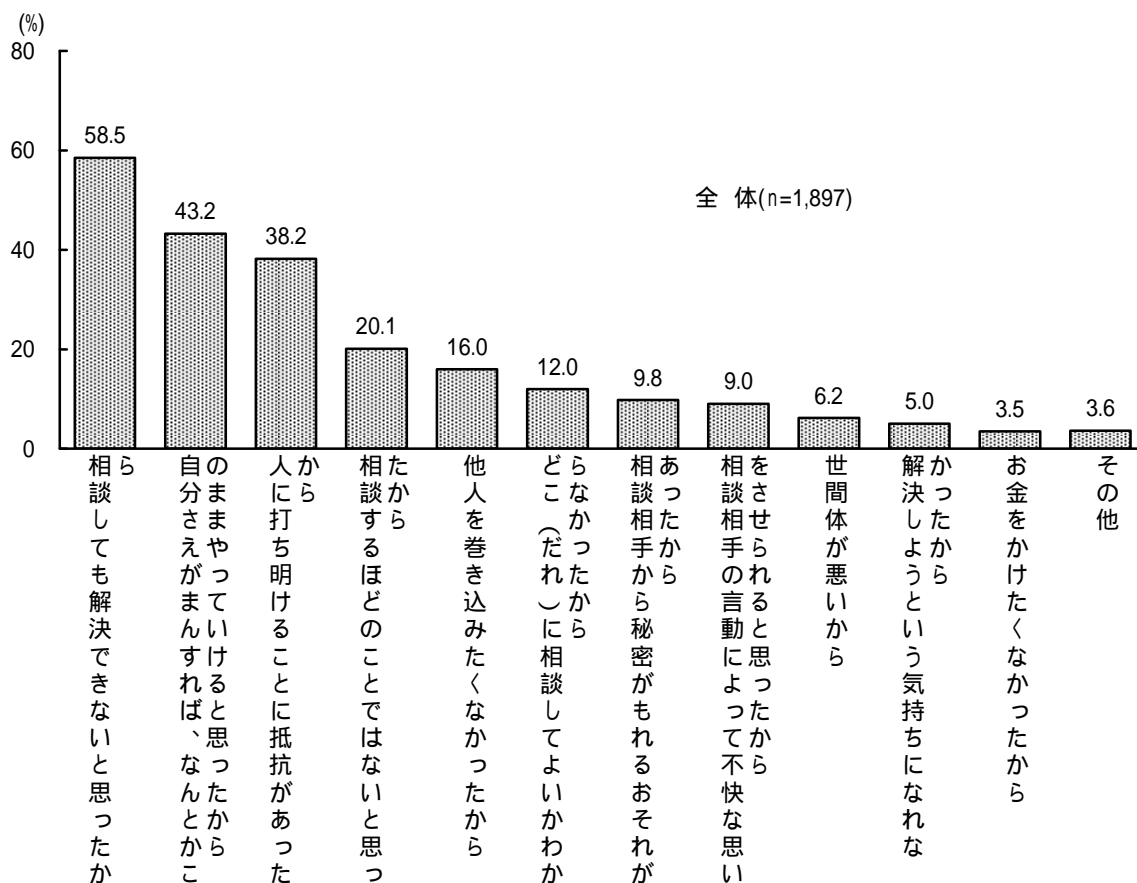
			(%)																		
			仕事、 起業など	恋愛、 結婚、 離婚、 夫婦の 関係 など	健康、 病気、 障害など	メンタル ヘルス、 ストレス など	家計、 借金、 相続など	友人、 知人との 関係や 職場の 人間 関係など	家族、 親戚との 関係や 家制度 など	生き方、 暮らし方 など	性格、 容姿など	育児、 子育て、 教育など	進学、 進路など	差別、 いじめなど	介護、 高齢期の 住まい方 など	学習、 勉強など	セクシ ュアル・ ハラ スメント など	パワ ー・ハラ スメント など	妊娠、 出産 など	ストー ーカー、 DVなど	その他
全	体	(n=1,897)	46.1	29.5	26.1	22.5	22.4	20.5	18.8	17.8	11.5	10.3	8.1	8.0	7.1	5.5	4.2	3.5	2.6	1.5	
男女	女	(n=1,234)	36.8	31.6	27.1	23.3	22.5	22.5	22.4	17.9	13.0	13.2	7.5	9.1	8.1	4.1	4.5	4.6	3.3	2.0	
	男	(n= 663)	63.3	25.5	24.4	21.0	22.0	16.7	12.2	17.5	8.7	4.8	9.0	5.9	5.1	8.1	3.8	1.5	1.2	0.5	
性・ 年代別	女	20代	(n= 246)	45.9	44.7	27.2	34.1	13.4	32.9	16.7	20.7	26.4	6.9	20.3	12.6	1.2	11.4	5.3	6.9	4.5	1.2
		30代	(n= 280)	41.1	36.8	21.4	24.3	20.7	26.8	19.3	12.9	12.1	11.1	5.7	13.2	1.1	4.6	4.6	6.4	4.6	1.4
		40代	(n= 233)	36.9	31.3	23.2	27.5	27.5	18.9	20.6	17.2	10.7	17.6	7.3	6.0	5.6	1.3	4.3	8.2	4.3	0.9
		50代	(n= 265)	34.0	18.9	27.9	17.0	27.9	19.6	27.9	19.6	9.1	16.2	3.0	5.7	16.2	1.5	4.5	0.4	2.3	1.9
		60代	(n= 210)	23.8	25.7	37.6	12.9	23.3	12.4	28.1	20.0	6.2	14.8	1.0	7.1	18.1	1.4	3.3	1.0	0.5	5.2
		男	20代	(n= 131)	58.0	37.4	16.8	27.5	19.1	16.8	12.2	24.4	22.1	3.1	25.2	8.4	0.0	24.4	1.5	0.8	2.3
	30代		(n= 154)	68.2	31.2	20.8	24.0	25.3	14.3	7.8	17.5	8.4	7.8	9.7	6.5	2.6	5.2	4.5	4.5	2.6	0.0
	40代		(n= 128)	65.6	28.1	26.6	25.0	19.5	19.5	11.7	18.0	9.4	4.7	4.7	7.8	6.3	9.4	9.4	0.0	0.8	0.8
	50代		(n= 153)	69.9	15.7	23.5	17.0	20.3	18.3	12.4	11.8	1.3	3.3	3.3	3.9	7.8	1.3	2.0	1.3	0.0	0.0
	60代		(n= 97)	49.5	12.4	39.2	8.2	26.8	14.4	19.6	16.5	2.1	5.2	1.0	2.1	10.3	0.0	1.0	0.0	0.0	2.1

ひとりで抱え込んだ理由(Q21)

・ひとりで抱え込んだ理由は、「相談しても解決できないと思ったから(58.5%)」が最も多く、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから(43.2%)」、「人に打ち明けることに抵抗があったから(38.2%)」が続いている(図表3 - - 3 - (20))。

図表3 - - 3 - (20) ひとりで抱え込んだ理由(全体:複数回答)

< 悩みや困りごとを解決できずにひとりで抱え込んだことが「ある」と答えた人 >



- ・男女別にみると、女性は男性に比べて「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」、「人に打ち明けることに抵抗があったから」がやや多く、男性は女性に比べて「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」がやや多い(図表3 - 3 - (21))。
- ・性・年代別にみると、女性の20代は「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」が他の年代に比べて多い。男性の20代は「相談するほどのことではないと思ったから」が他の年代に比べて多い(図表3 - 3 - (21))。

図表3 - 3 - (21) ひとりで抱え込んだ理由(全体、男女別、性・年代別:複数回答)

< 悩みや困りごとを解決できずにひとりで抱え込んだことが「ある」と答えた人 >

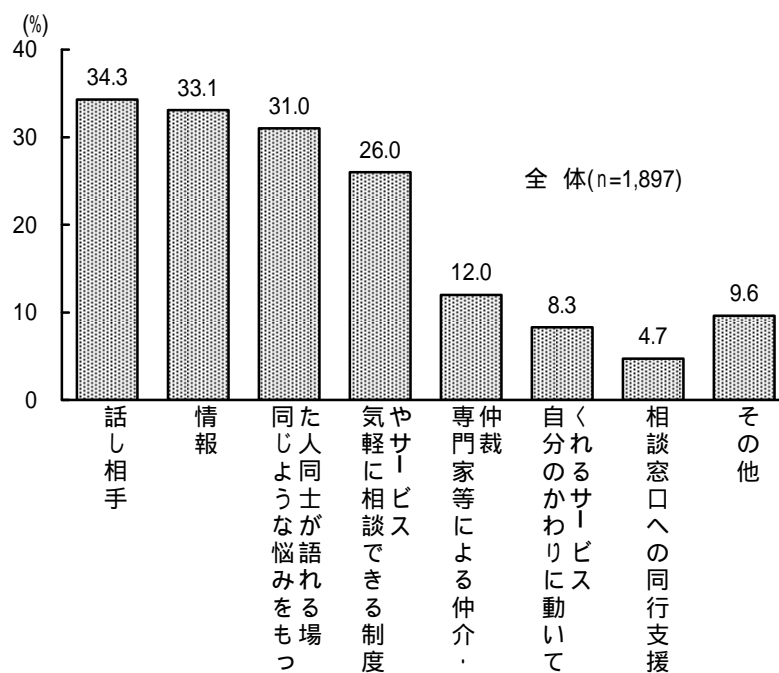
			相談しても解決できないと思ったか	自分さえがまんすれば、なんとかこ	のまに打ち明けることに抵抗があった	から相談するほどのことではないと思っ	たから	他人を巻き込みたくなかったから	どこ(だれ)に相談してよいかわか	らなかつたから	相談相手から秘密がもれるおそれが	あつたから	相談相手の言動によつて不快な思い	をさせられると思つたから	世間体が悪いから	解決しようという気持ちになれな	かつたから	お金をかけたくなかつたから	その他	(%)
全	体	(n=1,897)	58.5	43.2	38.2	20.1	16.0	12.0	9.8	9.0	6.2	5.0	3.5	3.6						
男女	女性	(n=1,234)	59.5	46.3	40.0	18.4	15.6	12.1	10.9	10.3	5.6	5.2	2.9	3.5						
	男性	(n= 663)	56.7	37.4	35.0	23.2	16.6	11.9	7.7	6.5	7.2	4.5	4.7	3.8						
性・年代	女	20代	(n= 246)	56.5	54.1	46.7	27.2	21.5	16.3	16.3	14.6	7.3	8.9	3.7	3.7					
		30代	(n= 280)	54.6	50.4	42.1	19.3	16.4	12.9	10.4	7.5	4.6	6.1	2.1	3.2					
		40代	(n= 233)	60.1	42.5	44.6	14.6	15.0	12.4	9.9	12.0	4.7	5.6	5.2	1.7					
		50代	(n= 265)	64.9	41.1	32.5	15.1	11.7	10.2	9.8	11.3	4.5	2.6	3.0	5.7					
	60代	(n= 210)	61.9	42.4	33.3	15.2	13.3	8.1	7.6	5.7	7.1	2.4	0.5	2.9						
	男	20代	(n= 131)	55.0	40.5	38.9	35.1	16.8	14.5	12.2	10.7	6.1	9.9	7.6	6.1					
		30代	(n= 154)	46.8	40.3	38.3	21.4	18.2	11.7	9.7	5.8	6.5	2.6	6.5	3.9					
		40代	(n= 128)	64.1	43.8	40.6	20.3	21.1	16.4	8.6	5.5	8.6	3.9	5.5	3.1					
		50代	(n= 153)	56.2	33.3	26.1	16.3	13.1	8.5	3.3	6.5	5.9	3.3	1.3	3.9					
		60代	(n= 97)	66.0	26.8	30.9	24.7	13.4	8.2	4.1	3.1	10.3	3.1	2.1	1.0					

悩みや困りごとをひとりで抱え込んだ時にあればよいと思った解決手段(Q22)

・悩みや困りごとをひとりで抱え込んだ時にあればよいと思った解決手段は、「話し相手(34.3%)」、「情報(33.1%)」、「同じような悩みをもった人同士が語れる場(31.0%)」の順に多い。逆に少ないものは「相談窓口への同行支援(4.7%)」、「自分のかわりに動いてくれるサービス(8.3%)」などとなっている(図表3 - 3 - (22))。

図表3 - 3 - (22) 悩みや困りごとをひとりで抱え込んだときにあればよいと思った解決手段
(全体:複数回答)

< 悩みや困りごとを解決できずにひとりで抱え込んだことが「ある」と答えた人 >



- ・男女別にみると、男性は「情報」、「専門家による仲介・仲裁」がやや多い(図表3 - - 3 - (23))。
- ・性・年代別にみると、女性の20代は、「話し相手」が他の年代に比べて多い。男性の20代は、「情報」が他の年代に比べて多い。男性の60代では「気軽に相談できる制度やサービス」が他の年代に比べて多い(図表3 - - 3 - (23))。

図表3 - - 3 - (23) 悩みや困りごとをひとりで抱え込んだときにあればよいと思った解決手段
(全体、男女別、性・年代別:複数回答)

< 悩みや困りごとを解決できずにひとりで抱え込んだことが「ある」と答えた人 >

			話し相手	情報	同じ人 のような 悩みを もめる 場合	や 気軽 に サ ー ビ ス で 可 能 な 制 度	専 門 家 等 に よ る 仲 介 ・ 仲 裁	自 分 の か わ り に 動 い て	相 談 窓 口 へ の 同 行 支 援	そ の 他	
全	体	(n=1,897)	34.3	33.1	31.0	26.0	12.0	8.3	4.7	9.6	
男	女	性	(n=1,234)	35.2	31.8	31.9	26.0	10.5	8.3	10.5	
女	男	性	(n= 663)	32.6	35.3	29.3	25.9	14.9	8.4	7.8	
性・ 年代	女	20代	(n= 246)	44.7	37.0	37.4	22.8	10.6	8.1	2.8	6.9
		30代	(n= 280)	38.2	28.2	33.9	26.4	10.4	6.1	4.3	11.1
		40代	(n= 233)	33.0	34.3	34.3	31.3	12.4	9.4	3.0	9.0
		50代	(n= 265)	32.8	30.2	29.4	21.9	11.7	10.2	6.4	11.7
		60代	(n= 210)	25.2	30.0	23.3	28.6	6.7	7.6	5.7	14.3
	男	20代	(n= 131)	31.3	41.2	35.1	19.1	16.8	7.6	5.3	9.9
		30代	(n= 154)	39.0	38.3	31.8	22.1	12.3	11.0	5.8	7.1
		40代	(n= 128)	36.7	37.5	28.1	26.6	18.8	10.2	3.9	6.3
		50代	(n= 153)	30.1	28.8	22.9	24.8	14.4	6.5	5.2	10.5
		60代	(n= 97)	22.7	29.9	28.9	42.3	12.4	6.2	6.2	4.1

(4) 悩みや困りごとがあったときの相談

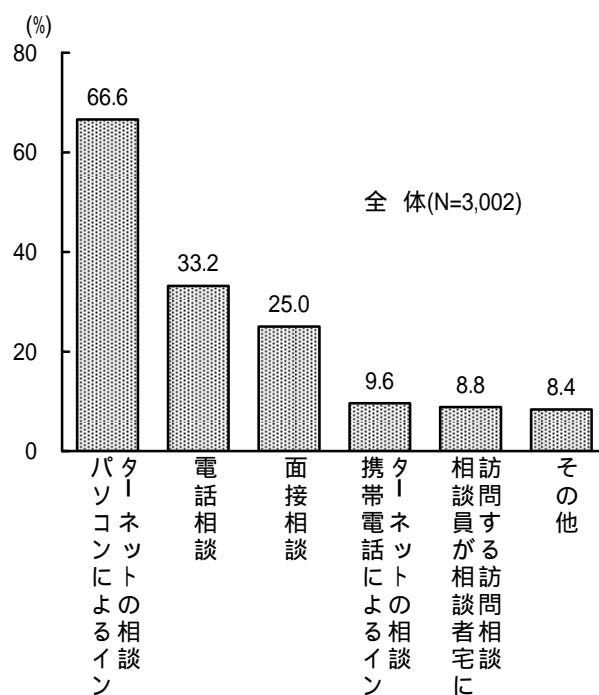
支援内容は「情報提供」や「匿名で」「お金をかけずに」「気軽に」相談できることを望む。
 思い浮かべる相談先は「インターネット」や「病院・医師・カウンセラー」、「行政の窓口」。女性の方が思い浮かべる先が多く、男性は仕事関係が多い。
 一番役に立ったのは、「当事者団体」、総合的には「金融機関・ファイナンシャルプランナー」、「図書館・公民館・生涯学習センター」、「病院・医師・カウンセラー」など。

悩みや困りごとがあったときにどのような解決があればよいと思うか(Q23)

【相談方法】

・相談方法は、「パソコンによるインターネットの相談(66.6%)」、「電話相談(33.2%)」、「面接相談(25.0%)」と続いている(図表3 - 3 - (24))。

図表3 - 3 - (24) 悩みや困りごとがあったときにあればよいと思う解決方法 - 相談方法 -
 (全体:複数回答)



- ・男女別にみると、男性は女性に比べて「面接相談」が多い(図表3 - 3 - (25))。
- ・性・年代別にみると、女性は20代で「パソコンによるインターネットの相談(80.1%)」、60代で「電話相談(45.4%)」、男性は40代で「面接相談(39.2%)」が他の年代に比べて多い(図表3 - 3 - (25))。
- ・悩みや困りことを解決できずにひとりで抱え込んだことの経験別に相談方法をみると、抱え込んだことのある人はない人よりも「パソコンによるインターネット相談」では7.0ポイント、「携帯電話によるインターネット相談」では3.2ポイント高く、「電話相談」では10.5ポイント低い(図表3 - 3 - (25))。

図表3 - 3 - (25) 悩みや困りごとがあったときにあればよいと思う解決方法 - 相談方法 -
(全体、男女別、性・年代別、抱え込んだ経験別:複数回答)

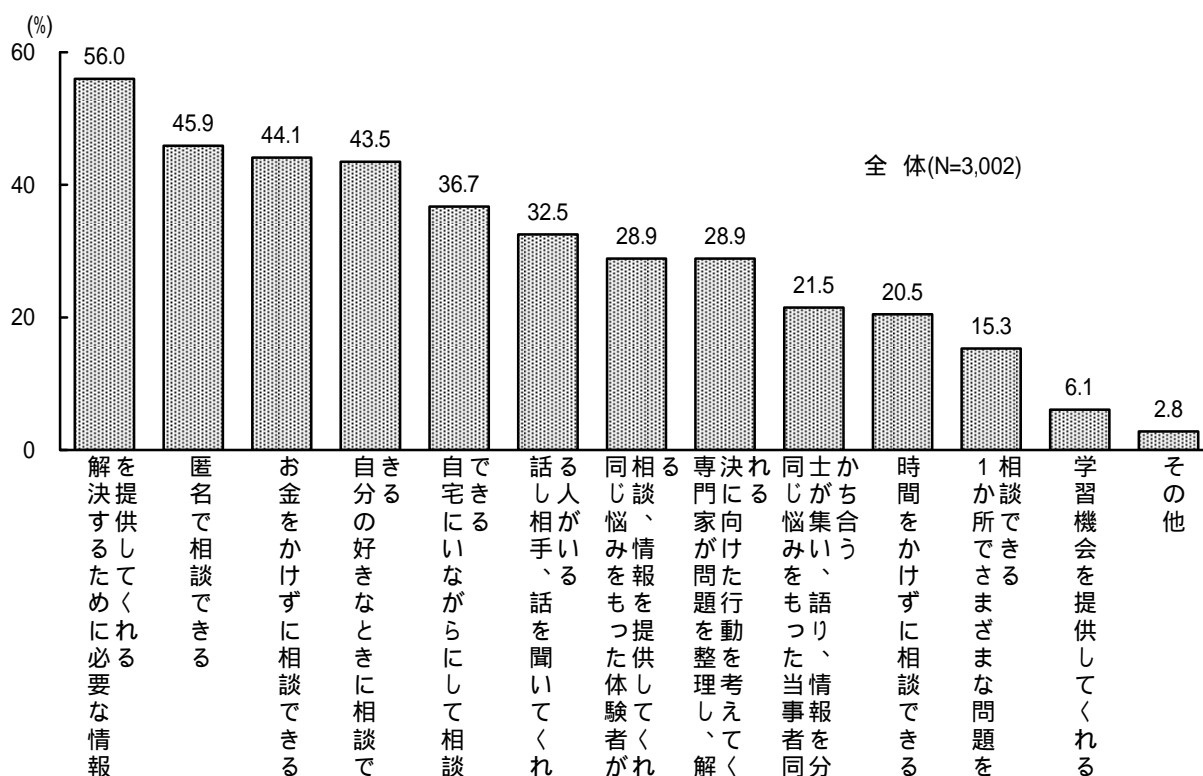
(%)

			パソコンによるインターネット相談	電話相談	面接相談	携帯電話によるインターネット相談	訪問する訪問者相談に	その他	
全	体	(N=3,002)	66.6	33.2	25.0	9.6	8.8	8.4	
男	女	(n=2,002)	67.0	34.1	22.1	9.3	8.0	9.3	
女	男	(n=1,000)	65.9	31.6	30.6	10.2	10.2	6.5	
性・年代	女	20代	(n= 356)	80.1	28.4	21.3	23.0	5.9	5.3
		30代	(n= 425)	71.5	27.1	19.1	10.6	5.9	9.6
		40代	(n= 368)	71.5	31.8	21.7	7.9	6.8	9.2
		50代	(n= 454)	62.1	37.0	25.3	3.7	8.6	12.1
		60代	(n= 399)	51.9	45.4	22.8	3.3	12.8	9.5
	男	20代	(n= 186)	71.0	28.0	23.7	21.0	6.5	6.5
		30代	(n= 217)	70.5	31.8	30.4	13.4	10.1	6.0
		40代	(n= 189)	67.7	31.7	39.2	9.0	11.1	4.2
		50代	(n= 225)	60.0	28.4	30.7	5.8	7.6	8.4
		60代	(n= 183)	60.7	38.8	29.0	2.2	16.4	7.1
抱え込み	ある	(n=1,897)	69.2	29.4	24.7	10.8	8.5	8.2	
	ない	(n=1,105)	62.2	39.9	25.3	7.6	9.1	8.8	

【支援内容】

・支援内容は、「解決するために必要な情報を提供してくれる(56.0%)」、「匿名で相談できる(45.9%)」、「お金をかけずに相談できる(44.1%)」、「自分の好きなときに相談できる(43.5%)」の順に多い(図表3 - 3 - (26))。

図表3 - 3 - (26) 悩みや困りごとがあったときにあればよいと思う解決方法 - 支援内容 - (全体:複数回答)



- ・男女別にみると、「解決するために必要な情報を提供してくれる」、「時間をかけずに相談できる」は男性が女性をわずかに上回るが、それ以外はいずれも女性のほうが多い(図表3 - - 3 - (27))。
- ・性・年代別にみても上位5項目は大きく変わらないが、男性の20代、40代は「話し相手、話を聞いてくれる人がある」が5位に入る(図表3 - - 3 - (27))。

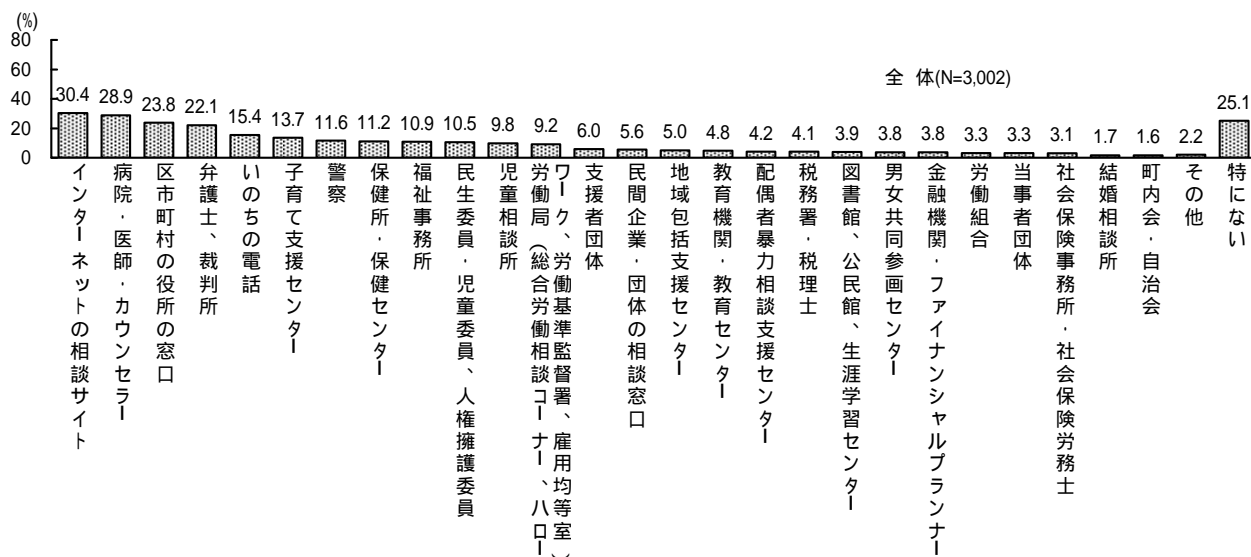
図表3 - - 3 - (27) 悩みや困りごとがあったときにあればよいと思う解決方法 - 支援内容 -
(全体、男女別、性・年代別:複数回答)

			解決するために必要な情報を提供してくれる	匿名で相談できる	お金をかけずに相談できる	自分の好きなときに相談できる	自宅にいながらにして相談できる	話し相手、話を聞いてくれる人がある	同じ悩みをもった体験者がある	専門家が問題を整理し、解決に向けて行動を考えてくれる	同じ悩みをもった当事者同士が集い語り情報を分かち合う	時間をかけずに相談できる	1か所ですまざまな問題を相談できる	学習機会を提供してくれる	その他	
全	体	(N=3,002)	56.0	45.9	44.1	43.5	36.7	32.5	28.9	28.9	21.5	20.5	15.3	6.1	2.8	
男	性	(n=2,002)	55.4	47.4	46.4	45.3	39.7	34.6	31.0	29.4	21.9	19.9	16.0	5.9	2.9	
女	性	(n=1,000)	57.1	42.8	39.6	40.0	30.8	28.4	24.9	28.0	20.5	21.6	13.8	6.6	2.6	
性・年代	女	20代	(n= 356)	58.4	54.2	50.0	50.8	40.7	38.5	33.4	27.0	25.0	21.6	15.2	8.4	2.0
		30代	(n= 425)	54.4	50.6	51.5	45.9	38.1	37.6	32.0	25.6	25.2	21.4	15.1	5.2	3.8
		40代	(n= 368)	61.4	50.3	46.2	45.9	40.5	33.2	35.9	31.8	22.6	20.1	16.0	5.2	3.0
		50代	(n= 454)	54.0	44.3	46.3	46.7	39.9	35.0	29.7	31.9	18.7	22.7	16.1	5.9	2.0
		60代	(n= 399)	49.9	38.8	37.8	37.3	39.6	28.8	24.6	30.6	18.8	13.3	17.5	5.0	4.0
	男	20代	(n= 186)	61.8	43.0	48.4	41.9	29.0	30.6	27.4	22.6	28.0	23.1	14.0	9.1	2.7
		30代	(n= 217)	56.2	44.7	44.7	41.5	28.1	25.8	27.6	22.1	23.0	27.6	12.9	5.5	2.3
		40代	(n= 189)	58.2	47.1	40.2	40.7	32.3	33.3	25.9	34.9	18.5	19.0	15.9	6.3	0.5
		50代	(n= 225)	52.0	42.2	31.1	36.4	30.2	28.0	19.1	31.1	16.0	19.1	9.8	7.6	5.3
		60代	(n= 183)	58.5	36.6	34.4	39.9	35.0	24.6	25.1	29.5	17.5	18.6	17.5	4.4	1.6

悩みや困りごとを解決するために思い浮かべる相談機関・人(Q24)

・悩みや困りごとを解決するために思い浮かべる相談機関・人として 26 項目についてたずねたところ、「インターネットの相談サイト(30.4%)」が最も多く、「病院・医師・カウンセラー(28.9%)」、「区市町村の役所の窓口(23.8%)」、「弁護士、裁判所(22.1%)」が続いている。それ以外の項目は 10% 台かそれ以下で、「男女共同参画センター」は 3.8%、「特にない」が 25.1% である(図表3 - 3 - (28))。

図表3 - 3 - (28) 悩みや困りごとを解決するために思い浮かべる相談機関・人 (全体:複数回答)



・男女別も上位4項目は全体と同じである。男性が女性より多いのは、「労働局」、「支援者団体」、「税務署・税理士」、「労働組合」にとどまり、それ以外はいずれも女性のほうが多い(図表3 - 3 - (29))。

・性・年代別にみると、女性の30代は「子育て支援センター」が他の年代に比べて多い(図表3 - 3 - (29))。

図表3 - 3 - (29) 悩みや困りごとを解決するために思い浮かべる相談機関・人 (全体、男女別、性・年代別:複数回答)

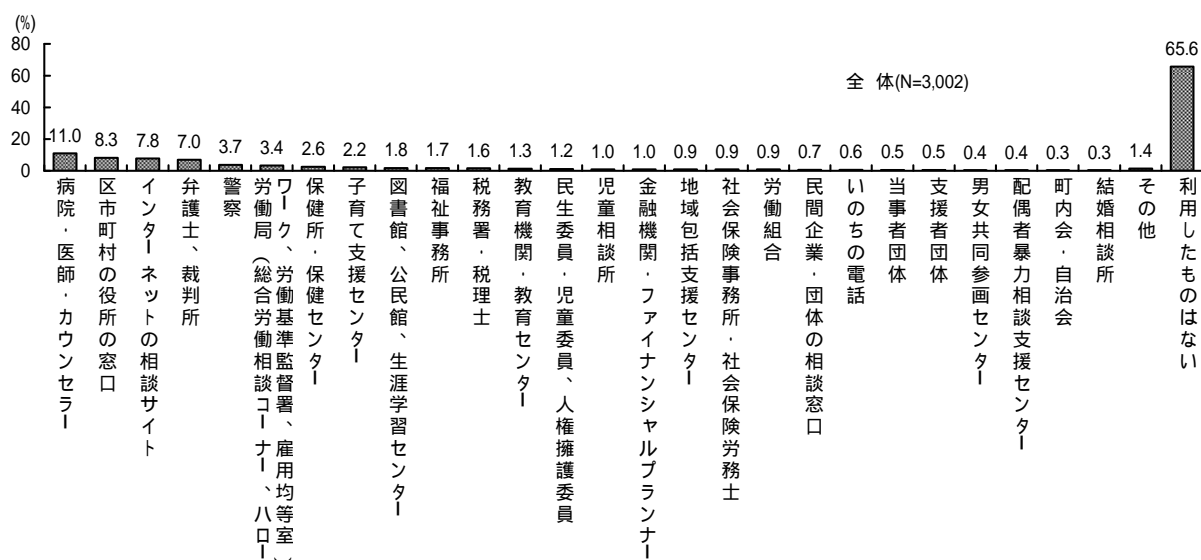
	インターネットの相談サイト	病院・医師・カウンセラー	区市町村の役所の窓口	弁護士、裁判所	いのちの電話	子育て支援センター	警察	保健所・保健センター	福祉事務所	民生委員・児童委員、人権擁護委員	児童相談所	労働局(総合労働相談コーナー、ハローワーク、労働基準監督署、雇用均等室)	支援者団体	民間企業・団体の相談窓口	地域包括支援センター	教育機関・教育センター	配偶者暴力相談支援センター	税務署・税理士	図書館、公民館、生涯学習センター	男女共同参画センター	金融機関・ファイナンシャルプランナー	労働組合	当事者団体	社会保険事務所・社会保険労務士	結婚相談所	町内会・自治会	その他	特にない
全体 (N=3,002)	30.4	28.9	23.8	22.1	15.4	13.7	11.6	11.2	10.9	10.5	9.8	9.2	6.0	5.6	5.0	4.8	4.2	4.1	3.9	3.8	3.8	3.3	3.3	3.1	1.7	1.6	2.2	25.1
女性 (n=2,002)	31.6	30.6	24.1	22.1	17.9	16.5	11.7	13.0	11.6	10.7	11.2	8.9	5.8	5.6	5.4	5.3	5.4	3.9	4.1	4.2	4.0	2.6	3.3	3.2	1.8	1.7	2.5	24.5
男性 (n=1,000)	28.0	25.7	23.1	21.9	10.3	8.2	11.4	7.6	9.4	9.9	7.1	9.7	6.4	5.5	4.1	3.8	1.7	4.6	3.4	2.9	3.5	4.8	3.2	3.0	1.5	1.4	1.4	26.4
女性 20代 (n=356)	37.9	31.7	21.9	18.5	13.2	21.3	12.6	13.5	7.6	6.2	15.4	12.6	3.7	7.0	4.2	6.2	6.2	3.1	5.6	4.2	4.5	3.9	1.7	2.5	3.4	1.4	2.5	21.3
女性 30代 (n=425)	32.5	26.6	21.9	17.9	13.9	29.6	12.7	15.1	6.1	6.6	14.6	7.3	4.7	4.2	2.6	6.4	6.4	2.4	2.8	3.8	4.7	1.2	3.3	2.1	0.7	0.5	3.8	26.1
女性 40代 (n=368)	37.2	32.9	22.8	21.7	22.6	15.2	10.9	12.2	10.1	11.4	12.5	9.8	6.8	6.3	4.6	5.7	6.8	2.7	4.3	4.6	2.7	3.8	3.0	3.0	1.4	1.4	1.9	22.3
女性 50代 (n=454)	29.7	31.5	26.9	30.2	23.3	8.6	13.4	11.5	16.7	13.0	8.4	9.0	6.2	5.5	6.8	4.6	3.5	6.4	4.8	3.7	5.1	2.4	4.4	3.5	1.8	2.4	2.2	23.3
女性 60代 (n=399)	21.8	30.6	26.6	21.1	15.8	8.3	8.8	13.0	16.5	16.0	5.8	6.5	7.8	5.5	8.5	3.8	4.5	4.5	3.0	5.0	2.8	2.0	4.0	4.8	2.0	2.8	2.3	29.1
男性 20代 (n=186)	29.0	21.5	17.7	17.7	9.7	9.7	13.4	8.6	1.6	5.4	10.2	10.8	3.2	1.1	0.5	5.4	0.5	4.3	3.8	2.7	4.8	4.8	0.5	4.3	1.1	1.1	1.6	33.3
男性 30代 (n=217)	30.0	20.3	22.1	21.7	8.3	11.1	9.2	3.7	5.5	4.6	5.5	8.8	3.7	4.1	2.3	2.3	1.8	2.3	2.3	2.8	1.8	6.9	3.2	2.8	1.8	1.4	0.9	29.5
男性 40代 (n=189)	30.2	28.0	27.0	21.7	16.4	10.6	13.8	7.4	5.8	15.9	12.2	11.1	8.5	8.5	2.6	3.7	2.1	4.8	5.3	3.2	3.7	5.8	6.3	2.6	2.6	1.6	1.6	23.3
男性 50代 (n=225)	21.8	28.4	18.2	25.3	12.4	5.8	9.3	7.6	12.4	12.0	4.4	9.8	7.1	8.0	4.4	3.1	3.1	6.2	1.3	0.9	5.3	4.9	2.7	2.7	1.8	0.9	2.2	26.2
男性 60代 (n=183)	30.1	30.6	31.7	22.4	4.4	3.8	12.0	11.5	21.9	12.0	3.8	8.2	9.8	5.5	10.9	4.9	0.5	5.5	4.9	5.5	1.6	1.1	3.3	2.7	0.0	2.2	0.5	19.1

悩みや困りごとを解決するために利用したことがある相談機関・人(Q25)

【利用したことがある相談機関・人】

・悩みや困りごとを解決するために利用したことがある相談機関・人として 26 項目についてたずねたところ、「病院・医師・カウンセラー(11.0%)」が最も多いが 10%台にとどまり、続く「区市町村の役所の窓口(8.3%)」、「インターネットの相談サイト(7.8%)」、「弁護士・裁判所(7.0%)」は 10%未満となっている。「利用したものはなし」が 65.6%である(図表3 - 3 - (30))。

図表3 - 3 - (30) 利用したことがある相談機関・人(全体:複数回答)



【利用した相談機関・人の満足度】(図表3 - - 3 - (31))

- ・満足度は、「役に立った」を多い順にみると、「当事者団体」の53.3%、「弁護士・裁判所」の45.0%、「病院・医師・カウンセラー」の43.2%となっている。「役に立たなかった」を多い順にみると、「いのちの電話」の26.3%、「結婚相談所」の25.0%、「配偶者暴力相談支援センター」の23.1%となっている。
- ・「役に立った」と「どちらかというに役に立った」をあわせて(役に立った)を多い順にみると、「金融機関・ファイナンシャルプランナー」の90.0%、「図書館・公民館・生涯学習センター」の83.6%、「病院・医師・カウンセラー」の80.0%となっている。
- ・「役に立った」を4点、「どちらかというに役に立った」を3点、「どちらともいえない」を2点、「どちらかというに役に立たなかった」を1点、「役に立たなかった」を0点とし、満足度として平均値を出したところ、「金融機関・ファイナンシャルプランナー」が3.20で最も点数が高く、「図書館・公民館・生涯学習センター」の3.13、「病院・医師・カウンセラー」の3.12が続いている。

図表3 - 3 - (31) 利用したことのある相談機関・人の満足度(全体)

		(%)					(点)
		役に立った	どちらかという役に立った	どちらともいえない	どちらかという役に立たなかった	役に立たなかった	満足度
区市町村の役所の窓口	(n=249)	25.7	34.1	17.3	10.4	12.4	2.50
男女共同参画センター	(n= 13)	30.8	7.7	46.2	0.0	15.4	2.38
配偶者暴力相談支援センター	(n= 13)	15.4	30.8	30.8	0.0	23.1	2.15
病院・医師・カウンセラー	(n=329)	43.2	36.8	11.9	5.8	2.4	3.12
保健所・保健センター	(n= 79)	22.8	44.3	15.2	11.4	6.3	2.66
児童相談所	(n= 29)	24.1	31.0	17.2	13.8	13.8	2.38
子育て支援センター	(n= 65)	29.2	43.1	23.1	3.1	1.5	2.95
教育機関・教育センター	(n= 38)	42.1	26.3	10.5	5.3	15.8	2.74
福祉事務所	(n= 51)	33.3	39.2	13.7	7.8	5.9	2.86
地域包括支援センター	(n= 27)	33.3	37.0	18.5	3.7	7.4	2.85
労働局(総合労働相談コーナー、ハローワーク、労働基準監督署、雇用均等室)	(n=102)	22.5	28.4	23.5	14.7	10.8	2.37
社会保険事務所・社会保険労務士	(n= 26)	34.6	30.8	15.4	11.5	7.7	2.73
労働組合	(n= 26)	38.5	26.9	23.1	11.5	0.0	2.92
町内会・自治会	(n= 10)	10.0	10.0	70.0	0.0	10.0	2.10
民生委員・児童委員、人権擁護委員	(n= 35)	17.1	31.4	31.4	8.6	11.4	2.34
警察	(n=110)	16.4	26.4	24.5	14.5	18.2	2.08
弁護士、裁判所	(n=211)	45.0	34.6	9.5	4.3	6.6	3.07
税務署・税理士	(n= 47)	40.4	36.2	17.0	6.4	0.0	3.11
金融機関・ファイナンシャルプランナー	(n= 30)	40.0	50.0	3.3	3.3	3.3	3.20
結婚相談所	(n= 8)	0.0	25.0	37.5	12.5	25.0	1.63
いのちの電話	(n= 19)	26.3	36.8	5.3	5.3	26.3	2.32
民間企業・団体の相談窓口	(n= 21)	33.3	28.6	28.6	4.8	4.8	2.81
当事者団体	(n= 15)	53.3	6.7	26.7	0.0	13.3	2.87
支援者団体	(n= 15)	26.7	46.7	20.0	0.0	6.7	2.87
図書館、公民館、生涯学習センター	(n= 55)	29.1	54.5	16.4	0.0	0.0	3.13
インターネットの相談サイト	(n=235)	23.8	48.5	20.4	5.5	1.7	2.87
その他	(n= 43)	58.1	16.3	9.3	11.6	4.7	3.12

解決方法や情報、相談機関等についての意見、要望(Q26)

解決方法や情報、相談機関等について、1,911件(女性1,350件、男性561件)の記述があった。以下に、主な意見、要望をまとめた。

図表3 - 3 - (32) 解決方法や情報、相談機関等についての意見、要望(全体)

	内容
利用方法	<p>【相談の費用】 匿名で費用がかからず親身に相談にのってくれる機関があればよい。無料で気軽に相談できればよい。【相談窓口の利用時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事を休んで相談に行くのは現実的に難しいので、休みや夜間も利用できるとよい。 ・ 区の弁護士相談は30分しか話せなくて短く感じた。せめて1時間くらい利用できると便利。 ・ 24時間、いつでもすぐつながる電話窓口がほしい。 ・ 予約不要がよい。予約の取りづらさ、待ち時間を解消する。 ・ 相談機関にとっては大勢の相談者のうちの一人かもしれないが相談者にとっては機関は唯一すがれる場所なので、迅速に対応するべきだと思っている。 <p>【相談の方法・場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働いていると時間が決まっている相談は利用しにくい。インターネットが最適。 ・ 市役所などの悩み相談などはおおむね時間が短いと感じる。チャットなどのインターネットによる悩み相談がもっと広まってもいいんじゃないかと思う。 ・ 自宅で相談できるとよい。 ・ 学校や企業に相談窓口を設置したりカウンセラーを常勤させる。 ・ 初対面の人に悩みを話すのは無理。メール、電話、面談とステップをふんで相談する。 ・ NPO等民間の良質な組織に対して行政が援助し育ててほしい。 <p>【その人が抱えている悩みに対して、総合的に対応してほしい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どの相談機関に行ったらわからないようなどっちつかずの悩みを抱えている時、全体的に包括して聞いてくれる場所をつくってほしい。 ・ 一般論は必要ない。その人が必要としている適した情報、方法等応えてほしい。 ・ 相談後のフォローもしてほしい。
プライバシー	<p>【個人情報の漏えいが心配】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報もれが気になるので、聞いたことのない団体等にあまり相談しようと思わない。 ・ インターネットは便利だが情報がもれないか心配だし、相談は人と向き合っていたいことが多い。 <p>【相談者の秘密を守ってほしい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小さな町では行政や民生委員は知り合いということがあるので、情報漏えいしそうで怖い。 ・ 悩みは近所に知られたくないことが多い。普段かかわりがなく、信頼できる相談員でないと相談できない。
相談員の資質	<p>【相談員に求められる資質・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どんな人が相談にのってくれるのかわからない。専門家なのかボランティアなのか。 ・ 相談員は、本当に苦しいことを経験してきた人にするべき。 ・ 事務的でなく処理してくれるところ、一人ひとり考え方が違うと認識して話せる人。 ・ モラハラなどの精神的被害についての知識や理解が少ない相談員から、2次被害を受けやすい。相談員はもっと勉強して適切なアドバイス・判断をしてほしい。 ・ 相談者に対して先入観を持ったり、最初から結論ありきで接することだけは避けるべき。 <p>【話をきちんと聞いてほしい、わかってほしい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大量に相談を処理しているからかもしれないが、形式的な回答が返ってくること、相談内容をよく読まずに回答してくること、実行した結果の報告がないことをやめてほしい。 ・ 話をきちんと聞いてほしい。話すだけで気持ちが整理され落ち着き、半分以上解決される。 ・ 切羽詰って電話しているのに、途中で電話を切られ、役所仕事だと思った。 <p>【気軽に話せるようにしてほしい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達感覚で話し相手として打ち解けられる欧米のようなカウンセラー制度。 ・ 経験豊富な女性の方が話しやすいと思う。男性ではセクハラや恋愛やいじめの話はしにくいし、男性という立場がとても強いので女性特有の悩みをわかってくれないと思った。 ・ 相談する側が助けてもらう側、相談を受ける側が上になる。気軽に話せるイメージがない。

	内容
情報提供	<p>【もっとPRしてほしい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気軽に相談できるということをもっとPRしてほしい。 ・ 信頼性・専門性と気軽さを前面に出してくれると相談しやすい。 ・ 相談窓口がまとめてわかるサイトがあったらいい。 <p>【他の相談機関や団体等の情報を提供してほしい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な窓口で公共機関など問わず適当な相談先を教えてくれるシステムがあるとよい。 ・ 聞き方に配慮してほしい。その相談機関で解決できない場合、せめて情報がほしい。 ・ 最適でない相談機関を訪れてしまった場合も、他に相談してくださいというだけでなく、異なる相談機関同士が連携して相談内容を引き継げるしくみを確立してほしい。 ・ ひとつの家族が複数の困難を抱えていることは珍しくない。身近な窓口となる相談機関があらゆる問題に対して幅広い知識・情報を持ってほしい。職員のカウンセリング基礎習得は必須であり、相談者に対して個別的で柔軟な対応が求められる。また専門職(心理療法士、精神保健福祉士など)を常駐させてほしい。 ・ 同じ悩みをもった当事者の講演やその団体を紹介してほしい。
相談員の対応	<p>【相談員の対応等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親身になって聞いてくれてうれしかったし助かった。 ・ 家の近くの子育て支援センターはたいしたことのない悩みも聞いてくれてとてもよい。 ・ 相談したかったがスタッフが忙しそうで気が引けた

4 男女共同参画センターについて

(1) 認知度及び利用状況

男女共同参画センターを知っている人は 38.6%。利用したことがあるのは 9.9%。相談の利用者はきわめて少ない。

認知度(Q27)

- ・男女共同参画センターの認知度は、「知っている」が 9.9%、「名前は聞いたことがある」が 28.7%で、両方をあわせて(知っている)は 38.6%である(図表3 - - 4 - (1))。
- ・男女別にみると、認知度に男女で違いはみられない(図表3 - - 4 - (2))。
- ・性・年代別にみると、男女ともに年代が高いほど(知っている)割合が多い(図表3 - - 4 - (2))。
- ・居住地別にみると、「知っている」は、都市部 33.8%、市町村部 40.9%である(図表3 - - 4 - (2))。

図表3 - - 4 - (1) 男女共同参画センターの認知度(全体)



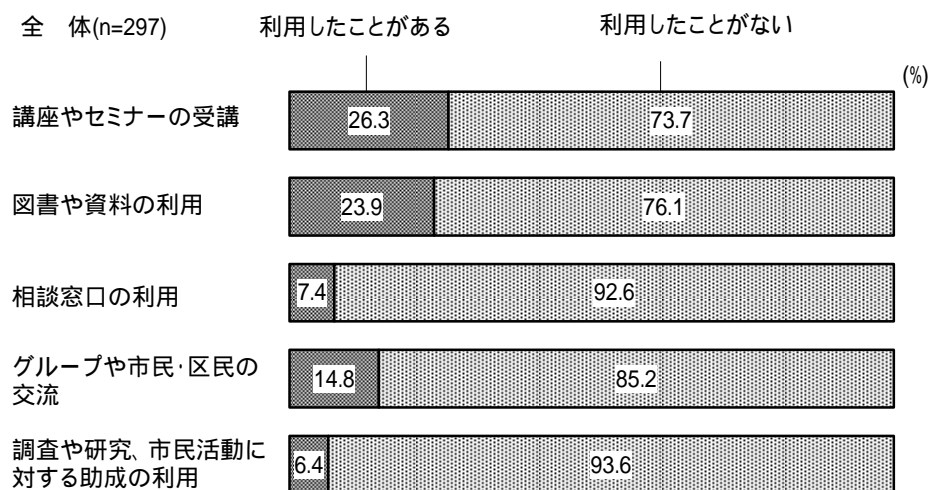
図表3 - - 4 - (2) 男女共同参画センターの認知度(全体、男女別、性・年代別、居住地別)

		全体 (N=3,002)	知っている (%)	名前は聞いたことがある (%)	知らない (%)
全体	(N=3,002)		9.9	28.7	61.4
男女別	女性 (n=2,002)		9.9	28.8	61.2
	男性 (n=1,000)		9.8	28.5	61.7
性・年代別	女性	20代 (n= 356)	4.5	25.6	69.9
		30代 (n= 425)	6.1	24.9	68.9
		40代 (n= 368)	9.0	26.6	64.4
		50代 (n= 454)	12.8	35.0	52.2
		60代 (n= 399)	16.5	30.8	52.6
	男性	20代 (n= 186)	4.3	23.1	72.6
		30代 (n= 217)	10.1	20.7	69.1
		40代 (n= 189)	7.9	24.9	67.2
		50代 (n= 225)	14.7	33.3	52.0
		60代 (n= 183)	10.9	41.0	48.1
居住地	都市部 (n= 950)		8.0	25.8	66.2
	市町村部 (n=2,052)		10.8	30.1	59.2

サービスの利用状況（Q28）

- 男女共同参画センターを知っている人が利用したサービスは、「講座やセミナーの受講」が 26.3%、「図書・資料の利用」が 23.9%、グループや市民・区民の交流」が 14.8%、「相談窓口の利用」が 7.4% となっている(図表3 - - 4 - (3))。

図表3 - - 4 - (3) サービスの利用状況(全体)
 <男女共同参画センターを「知っている」と答えた人>



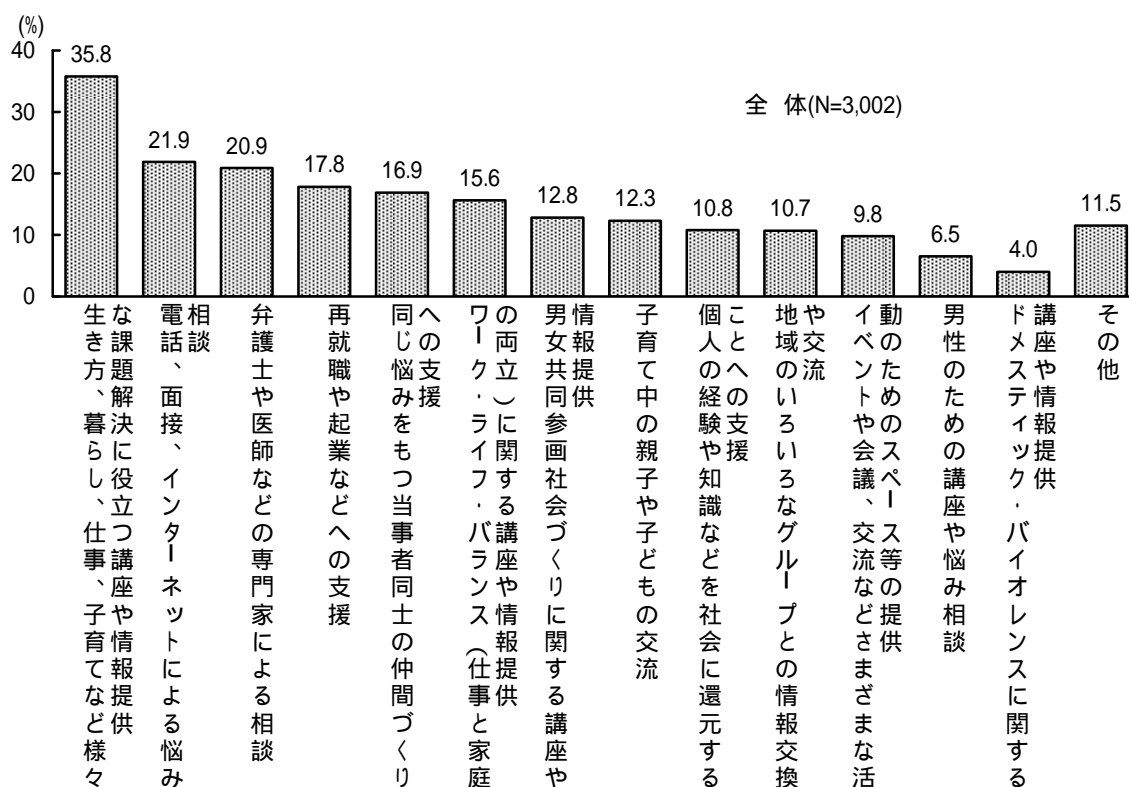
(2) 利用したい機能

利用したい機能は、「生き方、暮らし、仕事、子育てなど様々な課題解決に役立つ講座や情報提供」。

男女共同参画センターについて利用したい機能(Q29)

男女共同参画センターについて利用したい機能は、「生き方、暮らし、仕事、子育てなど様々な課題解決に役立つ講座や情報提供(35.8%)」が最も多く、「電話、面接、インターネットによる悩み相談(21.9%)」、「弁護士や医師などの専門家による相談(20.9%)」が続いている(図表3 - - 4 - (4))。

図表3 - - 4 - (4) 利用したい機能(全体:複数回答)



- ・男女別にみても上位3項目は全体と同じだが、男性は「男女共同参画社会づくりに関する講座や情報提供」、「男性のための講座や悩み相談」が女性よりも多くなっている(図表3 - - 4 - (5))。
- ・性・年代別にみると、女性の20代、30代は「子育て中の親子や子どもの交流」が他の年代に比べて多い。男性の20代は「男性のための講座や悩み相談」、60代は「男女共同参画社会づくりに関する講座や情報提供」が他の年代に比べて多い(図表3 - - 4 - (5))。
- ・居住地別にみると、上位3項目は全体と同じだが、都市部では「再就職や起業などへの支援」が、市町村部では「同じ悩みをもつ当事者同士の仲間づくりへの支援」がそれぞれ他の地域に比べて多い(図表3 - - 4 - (5))。

図表3 - - 4 - (5) 利用したい機能(全体、男女別、性・年代別、居住地別:複数回答)

			な	相	弁	再	同	ワ	情	子	個	地	動	男	ド	そ
			生	電	護	就	じ	ーク	報	育	人	域	イ	性	メ	他
			き	話	士	職	の	(提	中	の	の	ン	の	ス	
			方	、	や	や	支	ラ	供	の	支	交	ベ	た	テ	
			暮	面	医	起	援	や	親	験	流	ン	め	ィ		
			ら	接	師	業	を	知	子	や	の	ト	の	ク		
			し	、	な	な	も	識	や	の	の	や	講	・		
			、	イ	の	ど	つ	な	子	を	ス	座	バ			
			仕	ン	の	の	当	ど	社	社	等	や	イ	イ		
			事	テ	専	支	事	を	会	会	の	オ	オ			
			、	ト	門	援	と	会	議	議	グ	レ	レ			
			子	に	家	へ	仲	講	、	、	ル	ン	ン			
			育	よ	庭	の	間	座	交	交	プ	ス	ス			
			て	ら	に	の	づ	や	換	と	の	に	に			
			な	よ	よ	支	く	の	活	の	情	関	関			
			様	ら	の	援	り	交		報	交	与	与			
			々	悩	相	へ	の	流	す	換	換	相	相			
				み	談	の	支	の	る	す	す	談	談			
				み	。	の	援	講	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	座	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	情	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	報	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	提	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	供	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	交	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	流	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	の	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	講	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	座	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	情	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	報	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	提	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	供	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	交	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	流	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	の	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	講	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	座	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	情	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	報	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	提	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	供	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	交	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	流	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	の	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	講	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	座	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	情	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	報	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	提	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	供	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	交	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	流	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	の	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	講	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	座	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	情	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	報	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	提	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	供	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	交	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	流	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	の	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	講	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	座	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	情	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	報	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	提	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	供	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	交	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	流	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	の	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	講	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	座	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	情	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	報	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	提	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	供	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	交	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	流	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	の	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	講	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	座	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	情	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	報	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	提	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	供	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	交	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	流	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	の	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	講	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	座	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	や	る	る	る	。	。			
				み	。	の	援	情	る	る	る	。	。			
				み												

(3) 男女共同参画センターをどのようなことで利用したいか(Q30)

「ない」、「わからない」、「利用しない」を除いた回答数は1,575件(女性1,096件、男性479件)。
男女ともに20代、30代では仕事やワークライフバランス、40代以上になると定年後の生活など老後の生活などのテーマがあがっている。
方法は、専門相談、同じ悩みのある人との交流など。

	女性	男性
20代	<p>【テーマ】 女性の生き方/メンタルヘルス/進学/恋愛/就職・再就職・転職/スキルアップ/職場の女性差別/出産後の仕事復帰/子育てと仕事の両立/ワークライフバランス/パートナーとの家事分担/DV/子育て/シングルマザー/男性にはわからない内容の悩み</p> <p>【方法】 専門相談/電話相談/インターネット相談/同じ悩みを持つ人との交流/経験者と語り合える場/主婦友達との出会いの場/講座や情報提供</p>	<p>【テーマ】 男性特有の悩み/男性差別/男性のひとり親家庭の相談/男女間の生活に関わること/就職/転職/起業/スキルアップ/セクハラ/子育て/仕事と家庭の両立/ワークライフバランス/健康/ストレス解消/借金</p> <p>【方法】 専門相談/似た悩みを持った人と語り合う/同じ悩みを持つ当事者同士の仲間づくり/婚活希望者のお見合いパーティー/生き方や働き方に関する情報収集/DV講座</p>
30代	<p>【テーマ】 夫婦関係/離婚/仕事と家庭、子育ての両立/女性が会社組織で働き続けるための方法/就職、転職、病後の復職、再就職支援/解雇/メンタルケア/子育ての悩み/ママ友/これからの生き方/老後/同居の悩み</p> <p>【方法】 専門相談/当事者団体の紹介/同じ悩みを持つ人たちの集まり/夫婦と一緒に楽しみながら生活の基盤を学ぶ講座</p>	<p>【テーマ】 生きがい/結婚/離婚/共働き/仕事と家庭の両立/ワークライフバランス/転職/起業/男性ならではの悩み/男性側からみた子育ての悩み/子どもの教育/介護/メンタルヘルス/パワハラ/借金</p> <p>【方法】 同じ悩みを持つ当事者同士の仲間作り 何がDVになるのか、判断基準の問い合わせ</p>
40代	<p>【テーマ】 就職、再就職/仕事と子育ての両立/職場の女性差別/転職/夫婦関係/離婚/女性差別、暴力/転勤先での友達づくり/介護/ストレス、メンタル面の相談/老後の生活不安/相続、祭祀/身体の悩みや生き方/シングルライフ/ステップファミリー/女子生徒の性被害、虐待、摂食障害、DV</p> <p>【方法】 生き方・暮らし方講座/ささいな悩みを語り合える場</p>	<p>【テーマ】 仕事と家庭の両立/職場での管理職のあり方/転職/パワハラ/定年後の再就職/起業支援/結婚/夫婦関係の問題/嫁姑問題/近隣とのトラブル解決/男の家事/男性差別/父子家庭/健康/ストレス解消/セックスレス</p>
50代	<p>【テーマ】 老後の生活/老年期の夫婦のあり方/介護/ひとり暮らし/就職、再就職/起業/職場の若い人の教育方法/パワハラ対策/退職後のボランティア/健康/メンタルヘルス/更年期/DV/離婚</p> <p>【方法】 同じ立場の人とコミュニケーションがとれる/仲間づくり/法的な問題解決、弁護士への相談/未婚の男女のお見合い/男女差をなくすための意識改革教育</p>	<p>【テーマ】 健康/ストレス/性同一性障害/セックス/一人暮らし/ワークライフバランス/老後の生き方/職場での女性とのコミュニケーションのとり方/定年退職後の暮らし方/再就職/地域貢献/借金/家庭内での男性の立場/介護/相続/暴力</p> <p>【方法】 法律相談/低利の個人融資/若い人の結婚率を高めるための出会いの場/仕事以外の友人づくり</p>
60代	<p>【テーマ】 離婚/夫婦間の問題/健康/老後の生き方/介護/老老介護/一人暮らし/相続、葬式/子育てと仕事のバランス/子どもの就職/孫育て/</p> <p>【方法】 情報交換/専門相談/仲間と何かしたい/同じ悩みを持つ人たちと話がしたい/</p>	<p>【テーマ】 老後の生き方、暮らし方/一人暮らし/就職/セクハラ/健康/介護/嫁姑問題/</p> <p>【方法】 地域との交流 専門相談</p>